

21世紀のための友情計画

青年招へい事業 第Iフェーズ受入実績

(昭和59年度～63年度)

国際協力事業団
研修事業部

RY

21世紀のための友情計画

青年招へい事業 第Iフェーズ受入実績

(昭和59年度～63年度)

JICA LIBRARY



1091345(7)

国際協力事業団
研修事業部

国際協力事業団

22452

目次

I 昭和59年度～63年度青年招へい事業

1. 国別・分野別・年度別招へい実績	3
2. 国別受入実績	5
3. 実施協力団体別受入実績	6
4. JICA国内支部別受入実績	7
5. 県別地方プログラム実施件数	8
6. 地方分野別プログラム実施県および地方協力団体一覧	9
7. 実施協力団体別地方分野別プログラムの実施状況	12
8. 招へい青年の国別年度別実績	14
(1) 人数	14
(2) 平均年齢	14
(3) 男女の人数構成	15
(4) 女性の割合	15
(5) 公務員の人数	16
(6) 公務員の割合	16
(7) 大学・大学院卒業の人数	17
(8) 大学・大学院卒業の割合	17
9. 招へい青年の帰国時アンケート集計結果	18
10. 予算額の推移	20
11. 実施協力団体の概要	21
12. 調査団派遣実績(実施協力団体別)	23
13. 都道府県の窓口	24
14. 事業実施体制	25
15. 他の青年招へい事業	26

II 昭和59年度ASEAN青年招へい事業

1. 地方実施県(地区)	31
2. 受入実績	32
3. 実施協力団体	33
4. コーディネーター配置	34
5. アセアン青年内訳	35
6. 評価会での青年の発言	39
7. 事業実施報告	42

III 昭和60年度ASEAN青年招へい事業

1. 地方実施県(地区)	45
2. 各国との協議結果	46
3. 各国要望事項への対応	47
4. 受入実績	48
5. コーディネーター配置	49
6. アセアン青年内訳	50
7. 評価会での主な意見	57
8. 事業実施報告	61

IV 昭和61年度青年招へい事業

1. 地方実施県(地区)	65
2. 受入計画	66
3. 基本計画	67
4. 各国との協議結果	68
5. 各国要望事項への対応	70

6. 受入実績	71
7. コーディネーター配置	75
8. 招へい青年の内訳	76
9. 評価会での主な意見	79
10. 当面の問題点と対応策	84
11. 事業実施報告	86

V 昭和62年度青年招へい事業

1. 地方実施県（地図）	89
2. 基本計画	90
3. 各国との協議内容	91
4. 関係団体一覧	93
5. コーディネーター配置	94
6. 招へい青年の内訳	95
7. 受入実績	99
8. 当面の問題点と対応策	101
9. 団体、支部、青年から出された問題点	104
10. 事業実施報告	120
11. 基本方針と実施状況	121

VI 昭和63年度青年招へい事業

1. 地方実施県（地図）	125
2. 関係団体一覧	126
3. コーディネーター配置	127
4. 受入実績	128

5. 招へい青年の内訳	131
6. 事業実施報告	134
7. 評価・計画打合せ調査団概要	135
8. アフターケア調査チーム派遣概要報告	136
9. 事業の評価と反省	137

I 昭和59年度～63年度青年招へい事業

国別・分野別・年度別招へい実績

分野 年度 国名	公 務 員						教 員						学 生						青 年 指 導 者					
	59	60	61	62	63	計	59	60	61	62	63	計	59	60	61	62	63	計	59	60	61	62	63	計
ブルネイ			10	10	20	40		9	3	5	7	24		1	17	15	13	46		10	10	10		30
インドネシア		17	19	20	20	76	22	21	26	25	23	117	23	25	25	25	28	126	24	24	23	23	22	116
マレーシア	17	19	25	25	25	111	30	25	25	25	25	130	20	20	25	25	25	115	30	25	25	25	25	130
フィリピン							16	20	25	24	19	104	61	47	47	45	49	249	24	25	26	25	26	126
シンガポール	56	48	46	49	48	247	30	26	25	25	25	131	12	20	20	20	20	92	22	23	22	23	23	113
タイ													38	50	50	48	48	234	30	30	30	46	46	182
アセアン小計	73	84	100	104	113	474	98	101	104	104	99	506	154	163	184	178	183	862	130	137	136	152	142	697
ビルマ																					10	10		20
フィジー			10	10	11	31																		
P N G									10	14	20	44											10	10
その他太平洋					24	24					21	21												
太平洋小計			10	10	35	55			10	14	41	65											10	10
中国										25	24	49										22	24	46
韓国											74	74					25	25				40		40
合計	73	84	110	114	148	529	98	101	114	143	238	694	154	163	184	178	208	887	130	137	146	224	176	813

分野 年度 国名	農 村 青 年						勤 勞 青 年						そ の 他						合 計					
	59	60	61	62	63	計	59	60	61	62	63	計	59	60	61	62	63	計	59	60	61	62	63	計
ブルネイ													5	10	9	10	10	44	5	30	49	50	50	184
インドネシア	26	24	27	23	25	125	49	29	21	25	22	146	5	10	9	9	10	43	149	150	150	150	150	749
マレーシア	27	25	20	20	20	112	18	19	20	20	20	97	5	10 1* 5	10	10	10	50	147	148	150	150	150	745
フィリピン	20	21	20	21	20	102	23	27	22	25	26	123	5	10	10	10	10	45	149	150	150	150	150	749
シンガポール							25	23	27	24	23	122	4	10	10	9	11	44	149	150	150	150	150	749
タイ	38	30	30	23	23	144	38	30	30	23	23	144	5	10	10	10	10	45	149	150	150	150	150	749
アセアン小計	111	100	97	87	88	483	153	128	120	117	114	632	29	65	58	58	61	271	748	778	799	800	800	3925
ビルマ																					10	10		20
フィジー																					10	10	11	31
P N G																					10	14	30	54
その他太平洋																							45	45
太平洋小計																					20	24	86	130
中 国				25	24	49				25	24	49				2* 3	3* 4	7				100	100	200
韓 国				25		25				35		35										100	99	199
合 計	111	100	97	137	112	557	153	128	120	177	138	716	29	65	58	61	65	278	748	778	829	1034	1085	4474

(註) その他の項目中1* 2* 3*以外はアセアン混成(1*はスポーツ選手、2*と3*は引率団)

国別受入実績

国名	分野名	受入実績						合計
		59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	合計	
ブルネイ	了教青公	5	10	9	10	10	44	
	了教青公	0	10	20	20	20	70	
インドネシア	了教青公	0	10	10	10	20	30	
	了教青公	0	10	10	10	20	30	
マレーシア	了教青公	5	30	49	50	50	184	
	了教青公	5	30	49	50	50	184	
フィリピン	了教青公	5	10	9	9	10	43	
	了教青公	5	10	9	9	10	43	
シンガポール	了教青公	5	10	10	10	10	45	
	了教青公	5	10	10	10	10	45	
タイ	了教青公	5	10	10	10	10	45	
	了教青公	5	10	10	10	10	45	
太平洋諸国	了教青公	5	10	10	10	10	45	
	了教青公	5	10	10	10	10	45	
中国	了教青公	5	10	10	10	10	45	
	了教青公	5	10	10	10	10	45	
韓国	了教青公	5	10	10	10	10	45	
	了教青公	5	10	10	10	10	45	
合計	了教青公	748	778	829	1034	1085	4474	
	了教青公	748	778	829	1034	1085	4474	

実施協力団体別受入実績

実施協力団体／状況	59年度		60年度		61年度		62年度		63年度		59～63年度合計	
	グループ数	人数	グループ数	人数	グループ数	人数	グループ数	人数	グループ数	人数	グループ数	人数
青少年育成国民会議	1	29	3	86	4	93	5	128	5	122	18	458
中央青少年団体連絡協議会	4	88	5	111	5	103	7	151	8	186	29	639
世界青少年交流協会	5	131	7	167	7	174	7	168	8	196	34	839
日本国際生活体験協会	3	83	3	66	3	77	3	75	3	64	15	365
全国農村青少年教育振興会	2	47	2	51	2	57	3	69	3	68	12	292
勤労厚生協会	2	49	2	46	2	40	3	68	3	65	12	268
日本経済青年協議会	5	120	3	76	3	72	4	90	4	80	19	438
ユースワーカー能力開発協会	1	25	1	23	2	49	3	67	3	70	10	234
国際交流サービス協会	4	108	5	103	6	114	7	139	7	162	29	626
青年海外協力協会	2	68	2	44	3	50	4	76	3	68	14	306
合 計	29	748	33	773	37	829	46	1031	47	1081	192	4465
その他		0		*1 5		0		*2 3		*3 4		12
総 計	29	748	33	778	37	829	46	1034	47	1085	192	4474

*1 5名のマレーシアのスポーツ選手

*2 3名の中国総団

*3 4名の中国総団

J I C A 国内支部別受入実績

J I C A 国内支部 / 状況	5 9 年 度		6 0 年 度		6 1 年 度		6 2 年 度		6 3 年 度		5 9 ~ 6 3 年 度 合 計	
	グループ数	人 数	グループ数	人 数	グループ数	人 数	グループ数	人 数	グループ数	人 数	グループ数	人 数
北海道支部	1	20	1	30	2	43	2	33	2	46	8	172
東北支部	5	113	4	97	5	107	6	140	5	113	25	570
関東支部	9	204	8	195	5	106	9	220	10	218	41	943
中部支部	3	73	3	64	6	149	6	131	6	137	24	554
関西支部	5	139	3	74	4	78	6	135	6	146	24	575
中国支部	2	57	4	95	4	92	4	87	5	121	19	452
四国支部	1	38	3	78	4	85	5	93	4	81	17	375
九州支部	1	29	3	59	3	71	4	99	5	128	16	386
熊本出張所	2	55	3	71	3	72	3	68	3	70	14	336
沖縄支部	1	20	1	10	1	26	1	25	1	21	5	102
合 計	30	748	33	773	37	829	46	1031	47	1081	193	4465
その他		0		*2 5		0		*3 3		*4 4		12
総 計	*1 30	748	33	778	37	829	46	1034	47	1085	193	4474

- * 1 タイ農村青年を2グループに分け実施(京都、沖縄)
- * 2 5名のマレーシアのスポーツ選手
- * 3 3名の中国総団
- * 4 4名の中国総団

県別地方プログラム実施件数

支部名	県名	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	合計
北海道支部	北海道	1	1	2	2	2	8
東北支部	森田手形城島 青秋岩山宮福	1 1 0 1 1 1	0 1 0 1 1 1	1 1 1 0 1 1	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 0 1	4 5 3 4 4 5
関東支部	新潟群馬茨城栃木 群馬埼玉野芝東京梨 静岡	1 1 1 0 0 2 0 0 0 1 4	2 1 1 2 0 2 0 0 0 0 0	1 1 1 1 0 1 0 0 0 0 0	0 2 0 1 0 1 1 0 1 1 2	1 1 1 1 0 1 1 0 1 1 2	5 6 4 5 0 7 2 0 2 3 8
中部支部	山梨井上知重 高石福岐愛三	0 2 0 0 1 0	0 1 0 0 1 1	0 1 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	2 6 3 3 6 4
関西支部	京都兵庫奈良和歌山 滋賀大阪奈良	1 1 2 0 1 0	0 0 1 1 1 0	0 1 1 1 1 0	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	3 4 6 4 5 2
中国支部	取山根島口 鳥岡島山	0 0 1 1 1 0	0 1 1 1 1 1	0 1 2 0 1	1 0 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	2 3 6 4 4
四国支部	香徳愛高 川島媛知	1 0 0 0	1 2 0 0	1 1 1 1	1 2 1 1	1 1 1 1	5 6 3 3
九州支部	熊本出張所 熊本出張所	0 0 0 0 1 1 1 0	0 1 1 1 0 1 1 1	0 1 0 1 1 1 1 1	1 0 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1	2 3 3 4 4 5 5 4
沖縄支部	沖縄	1	1	1	1	1	5
合計(グループ数)		30	33	37	46	47	193
合計(道府県数)		25	29	34	41	44	173

地方分野別プログラム実施県および地方協力団体一覧

支部名	県名	59年度実施プログラム名			60年度実施プログラム名			61年度実施プログラム名			62年度実施プログラム名			63年度実施プログラム名																																	
		団体名	国名	分野	人数	団体名	国名	分野	人数	団体名	国名	分野	人数	団体名	国名	分野	人数																														
北海道支部	北海道	中青連	マレーシア	学生	20	中青連	タイ	学生A	30	交流協	インドネシア	青指	23	中青連	シンガポール	青指	23	中青連	シンガポール	青指	23	北海道青少年団体連絡協議会	北海道青少年団体連絡協議会	交流協	タイ	青指B	23	北海道世界青年友の会																			
東北支部	青森	中青連	シンガポール	学生	12	交流協	インドネシア	青指	24	中青連	インドネシア	学生	25	中青連	韓国	農村	25	振興会	インドネシア	農村	25	協力協	マレーシア	農村	20	青年海外協力隊	秋田県OB会	中青連	韓国	教員A	25																
	秋田	交流協	フィリピン	教員	16					国民議	アセアン混成	公務	30	交流協	シンガポール	教員	25	協力協	マレーシア	農村	20											協力協	マレーシア	農村	20	青年海外協力隊	秋田県OB会	中青連	韓国	教員A	25						
	岩手	交流協	フィリピン	教員	16	秋田市教育委員会社会教育課	秋田市教育委員会社会教育課	秋田県企画調整部企画調整課	秋田県企画調整部企画調整課	中青連	ブルネイ	青指	10	中青連	タイ	青指A	23	中青連	韓国	教員A	25											青年海外協力隊	秋田県OB会	中青連	韓国	教員A	25	岩手県青年団協議会									
	山形	中青連	インドネシア	農村	26	中	青	連	インドネシア	農村	24	中	青	連	タイ	学生B	20	協力協	フィリピン	農村	21											協力協	マレーシア	農村	20	青年海外協力隊	山形県OB会	協力協	フィリピン	農村	20	山形県青年海外協力協会					
	宮城	中青連	タイ	青指	30	協力協	フィリピン	学生A	19	中	青	連	タイ	学生B	20	振興会	タイ	農村	23	振興会	タイ											農村	23	宮城県青年会	宮城県青年会	ユース	シンガポール	公務	23	ユース	タイ	青指A	23				
	福島	国民議	アセアン混成	公務	29	国民議	アセアン混成	公務	30	ユース	シンガポール	公務	22	ユース	シンガポール	公務	23	ユース	タイ	青指A	23											福島県生活福祉部青少年婦人課	福島県青少年育成県民会議	福島県青少年育成県民会議	福島県青少年育成県民会議	福島県青少年育成県民会議	福島県青少年育成県民会議	福島県青少年育成県民会議	福島県青少年育成県民会議	福島県青少年育成県民会議	福島県青少年育成県民会議	福島県青少年育成県民会議	福島県青少年育成県民会議	福島県青少年育成県民会議	福島県青少年育成県民会議	福島県青少年育成県民会議	
関東支部	新潟	農林業	フィリピン	農村	20	体験協	フィリピン	青指	25	日経青	タイ	勤労	30	(合宿セミナープログラムを実施)	(合宿セミナープログラムを実施)	交流サ	マレーシア	公務	25	体験協	マレーシア	教員	25	体験協	マレーシア	教員	25	体験協	マレーシア	教員	25	体験協	マレーシア	教員	25	体験協	マレーシア	教員	25	体験協	マレーシア	教員	25	体験協	マレーシア	教員	25
	栃木	交流サ	インドネシア	教員	22	協力協	マレーシア	農村	25	日経青	マレーシア	勤労	20							協力協	マレーシア	農村	20	交流サ	マレーシア	公務	25	協力協	マレーシア	農村	20	交流サ	マレーシア	公務	25	協力協	マレーシア	農村	20	交流サ	マレーシア	公務	25				
	群馬	農林業	マレーシア	農村	27	厚生協	インドネシア	勤労	29	厚生協	インドネシア	勤労	21							厚生協	インドネシア	勤労	21	厚生協	インドネシア	勤労	22	厚生協	インドネシア	勤労	22	厚生協	インドネシア	勤労	22	厚生協	インドネシア	勤労	22	厚生協	インドネシア	勤労	22				
	茨城	交流サ	シンガポール	教員	26	交流サ	シンガポール	教員	26	交流サ	P N G	教員	10							交流サ	P N G	教員	10	交流サ	ブルネイ	教学	20	交流サ	ブルネイ	教学	20	交流サ	ブルネイ	教学	20	交流サ	ブルネイ	教学	20	交流サ	ブルネイ	教学	20				
	埼玉	日経青	マレーシア	勤労	18	日経青	マレーシア	勤労	19	日経青	マレーシア	勤労	19							日経青	マレーシア	勤労	19	日経青	マレーシア	勤労	19	日経青	マレーシア	勤労	19	日経青	マレーシア	勤労	19	日経青	マレーシア	勤労	19	日経青	マレーシア	勤労	19				
	長野	日経青	マレーシア	勤労	18	日経青	マレーシア	勤労	19	日経青	マレーシア	勤労	19							日経青	マレーシア	勤労	19	日経青	マレーシア	勤労	19	日経青	マレーシア	勤労	19	日経青	マレーシア	勤労	19	日経青	マレーシア	勤労	19	日経青	マレーシア	勤労	19				
	千葉	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24							日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24				
	東京	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24							日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24				
	神奈川	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24							日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24				
	山梨	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24							日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24				
静岡	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24	日経青	インドネシア	青指	24											

支部名	県名	59年度実施プログラム名				60年度実施プログラム名				61年度実施プログラム名				62年度実施プログラム名				63年度実施プログラム名			
		団体名	国名	分野	人数	団体名	国名	分野	人数	団体名	国名	分野	人数	団体名	国名	分野	人数	団体名	国名	分野	人数
中部支部	富山												厚生協	インドネシア	勤労	25	交流協	マレーシア	学生	25	
	石川	体験協	フィリピン	学生	29	交流協	シンガポール	学生	20	体験協	フィリピン	青指	26	富山県	青船会			富山県	世界青年友の会	学生	19
	福井	体験協	金沢地区委員会											交流協	マレーシア	公務	25	体験協	フィリピン	教員	19
	岐阜	交流協	シンガポール	青指	22	金沢市教育委員会								金沢市	青少年団体連絡協議会			体験協	小松地区委員会		
	愛知	厚生協	インドネシア	勤労	22	(窓口の問題で不可)								中青連	中国	農村	25	ユース	中国	青指	24
関西支部	滋賀	厚生協	インドネシア	勤労	27	厚生協	インドネシア	公務	17	振興会	インドネシア	農村	27	福井県	青少年団体連絡協議会			福井県	青少年団体連絡協議会		
	京都	滋賀県	国際友好親善協会	農村	18	国民議	アセアン混成	公務	30	交流サ	シンガポール	公務	24	交流サ	シンガポール	公務	26	交流協	韓国	学生	25
	兵庫	O B会	青年海外協力隊京都府O B会										日本国際	連合岐阜県本部			日本国際	連合岐阜県本部			
	奈良	体験協	フィリピン	青指	24	兵庫県	青少年育成県民会議			厚生協	インドネシア	公務	19	厚生協	インドネシア	公務	20	厚生協	インドネシア	公務	20
	大阪	体験協	尼崎地区委員会										国民議	アセアン混成	公務	28	国民議	アセアン混成	公務	28	
中国支部	鳥取	交流協	フィリピン	学生	32	交流協	マレーシア	公務	19	交流協	フィリピン	学生B	21	交流協	インドネシア	学生	25	厚生協	タイ	勤労	23
	岡山	日経青	タイ	勤労	38	交流協	マレーシア	教員	25	交流協	マレーシア	教員	25	交流協	マレーシア	公務	10	交流協	マレーシア	公務	10
	島根	関西	経営者協会										振興会	インドネシア	農村	23	振興会	インドネシア	農村	23	
	広島	兵庫県	世界青年友の会										和歌山県	4Hクラブ連絡協議会			和歌山県	世界青年友の会			
	山口	和歌山	和歌山県	青少年本部																	
四国支部	香川	(国体のため不可)																			
	徳島	体験協	インドネシア	教員	21	交流協	フィリピン	学生B	28	交流協	フィリピン	学生A	30	交流協	マレーシア	青指	25	交流協	マレーシア	青指	25
	愛媛	交流サ	シンガポール	公務	27	交流サ	シンガポール	公務	24	交流サ	ブルネイ	公務	10	交流サ	ブルネイ	公務	10	交流サ	ブルネイ	公務	10
	高知	体験協	マレーシア	教員	30	日経青	タイ	勤労	30	日経青	タイ	勤労	30	日経青	タイ	勤労	30	日経青	タイ	勤労	30
	高知	山口県	青年友の会																		

支 部 名	県 名	59年度実施プログラム名				60年度実施プログラム名				61年度実施プログラム名				62年度実施プログラム名				63年度実施プログラム名											
		団体名	国 名	分野	人数	団体名	国 名	分野	人数	団体名	国 名	分野	人数	団体名	国 名	分野	人数	団体名	国 名	分野	人数								
九州支部 熊本出張所	全県																												
	大分					交流サ	シンガポール	公務	24	体験協	インドネシア	教員	26																
	佐賀					大分県	海外協会			体験協	大分地区委員会																		
	福岡					国民議	マレーシア	青指	25	国民議	マレーシア	青指	25	ユース	シンガポール	勤労	24	ユース	シンガポール	勤労	24	国民議	アセアン混成	公務	30				
	長崎					交流サ	シンガポール	公務	29	交流サ	シンガポール	教員	25	交流サ	韓国	青指B	20	交流サ	韓国	青指B	20	国民議	アセアン混成	公務	30				
	熊本					長崎県	海外協会			福岡県	海外協会			交流サ	中 国	教員	25	交流サ	中 国	教員	25	山口・九州経済団体連	合 会						
	宮崎					OB会	マレーシア	青指	30	交流サ	ブルネイ	教学	20	交流サ	ブルネイ	教学	20	交流サ	ブルネイ	教学	20	日経青	マレーシア	勤労	20				
鹿児島					青年海外協力隊熊本県OB会				長崎県	海外協会			協力協	マレーシア	農村	20	長崎県	海外協会			大分県	アセアン青年交流協	議 会						
					グルワ	シンガポール	勤労	25	グルワ	シンガポール	勤労	23	ユース	シンガポール	勤労	27	ユース	シンガポール	勤労	27	ユース	シンガポール	勤労	23	中 青 連	フィリピン	青指	26	
					グルワ協会宮崎県支部				熊本県	青年海外協力協会			ユース	宮崎県支部			ユース	宮崎県支部			熊本県	青年団体連絡協	議 会		熊本県	青年団体連絡協	議 会		
					鹿児島県青少年団体連絡協議会				中 青 連	シンガポール	青指	23	国民議	マレーシア	青指	25	厚生協	インドネシア	青指	23	厚生協	インドネシア	青指	23	交流サ	シンガポール	教員	25	
									鹿児島県	青少年団体連絡協議会			鹿児島県	総務部青少年婦人課			鹿児島県	ア青年受入実行委員会			鹿児島県	ア青年受入実行委員会			鹿児島県	ア青年受入実行委員会			
沖縄支部	沖縄	OB会	タイ	農村	20	中 青 連	ブルネイ	青指	10	中 青 連	フィリピン	学生A	26	国民議	タイ	学生A	25	中 青 連	太平洋混成	教員	21	中 青 連	太平洋混成	教員	21	中 青 連	タイ	農村	20
									沖縄県	青年団協議会			沖縄県	青年団協議会			沖縄県	国際交流財団			沖縄県	国際交流財団			沖縄県	国際交流財団			
	合 計	748名	30グループ	(タイ農村を2グループに分けて実施)		778名	33グループ	(他に5名のマレーシアスポーツ選手を含む)		829名	37グループ	(新規国3、ブルネイで1増)		1034名	46グループ	(新規国2、タイで1増)		1085名	47グループ	(太平洋で2増、ブルネイで1減、他に4名の中国総団を含む)									

(註) 日経青 インドネシア 青指 24名
は長野、静岡両県で実施

実施協力団体別地方分野別プログラムの実施状況

団体名/国名		アセアン諸国							ビ ル マ	太平洋諸国			中 国	韓 国
		アセアン混成	ブルネイ	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タ イ		太平洋混成	フィジー	P N G		
青少年育成 国民会議	59	公務 福島29												
	60	公務 福島30 公務 兵庫30			青指 佐賀25									
	61	公務 秋田30 公務 愛知28			青指鹿児島25						公務 高知10			
	62	公務 九州30 公務 静岡28						学生 沖縄25			公務 高知10			勤労神奈川35
	63	公務 九州30 公務 兵庫31				学生 鳥取25					公務 静岡11			教員和歌山25
中央青少年 団体連絡協 議会	59			農村 山形26	学生北海道20		学生 青森12	青指 宮城30						
	60		青指 沖縄10	農村 山形24 学生 熊本25			青指鹿児島23	学生北海道30						
	61		青指 岩手10	学生 青森25		学生 沖縄26	青指 山口22	学生 宮城20						
	62		青指 愛媛10	教員 熊本25			青指北海道23	青指 岩手23					農村 福井25	農村 青森25 青指 栃木20
	63		教学 山梨20	青指 熊本22	青指 静岡25	青指 佐賀26	青指北海道23				教員 沖縄21		農村 徳島24	教員 岩手25
世界青少年 交流協会	59			学生 静岡23		教員 秋田16 学生 兵庫32	青指 石川22	学生 香川38						
	60			青指 秋田24	教員 大阪25 公務 奈良19	学生 香川28	学生 石川20	学生 山口20 青指 徳島30						
	61			青指北海道23	教員 大阪25 公務 三重25	学生 奈良21	学生 徳島20	学生 香川30 青指 岡山30						
	62			学生 奈良25	公務 石川25 青指 香川25	学生 兵庫20	教員 秋田25	青指 徳島23					勤労 大阪28	
	63			学生 福岡28 教員 大阪23	学生 富山25		公務 三重24	青指北海道23			公務 千葉24		勤労 香川24	学生 岐阜25
日本国際生 活体験協会	59				教員 広島30	学生 石川29 青指 兵庫24								
	60			教員 岡山21	学生 徳島20	青指 新潟25								
	61			教員 大分26	学生 愛媛25	青指 石川26								
	62				学生 徳島25 教員 広島25	青指 山梨25								
	63				教員 新潟25	教員 石川19	学生 岡山20							
全国農村青 少年教育振 興会 *1	59				農村 群馬27	農村 新潟20								
	60					農村 長野21		農村 栃木30						
	61			農村 福井27				農村 高根30						
	62			農村和歌山23				学生 鳥取23 農村 宮城23						
	63			農村 青森25				学生 京都20 農村 愛媛23						

団体名/国名	アセアン諸国							ビルマ	太平洋諸国			中国	韓国
	アセアン混成	ブルネイ	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ		太平洋混成	フィジー	P N G		
勤労厚生協会	59		勤労 愛知22 勤労 滋賀27										
	60		公務 愛知17 勤労 群馬29										
	61		公務 愛知19 勤労 群馬21										
	62		公務 愛知20 青指 鹿児島23 勤労 富山25										
	63		公務 愛知20 勤労 群馬22					勤労 奈良23					
日本経済青年協議会 * 2	59		青指 静岡と 長野24	勤労 長野18 公務 静岡17	勤労 静岡23		勤労 大阪38						
	60			勤労 茨城19	勤労 三重27		勤労 広島30						
	61			勤労 栃木20	勤労 兵庫22		勤労 新潟30						
	62			勤労 京都20	勤労 千葉25		勤労 静岡23					青指 滋賀22	
	63			勤労 大分20	学生 滋賀24 勤労 長野26						青指 高知10		
ユースワーカー能力開発協会 * 3	59						勤労 宮崎25						
	60						勤労 宮崎23						
	61						公務 福島22 勤労 宮崎27						
	62						公務 福島23 学生 宮崎20 勤労 佐賀24						
	63						勤労 宮崎23	青指 福島23				青指 福井24	
国際交流サービス協会	59		教員 栃木22				教員 山梨30 公務 長崎29 公務 島根27						
	60		教学 福岡10		教員 長野20	教員 茨城21 公務 大分24 公務 島根24							
	61		公務 島根10 教学 長崎20		教員 長野25	教員 福岡25 公務 岐阜24					教員 茨城10		
	62		教学 茨城20 公務 三重10		教員 長野24	公務 岐阜26					教員 島根14	教員 長崎25	青指 福岡20
	63		公務 神奈川20		公務 栃木25		公務 広島24 教員 鹿児島25				教員 茨城20	教員 島根24	教員 長崎24
青年海外協力協会 * 4	59				青指 熊本30		農村 京都18 沖縄20						
	60				農村 新潟25	学生 宮城19							
	61				農村 熊本20	農村 北海道20			青指 京都10				
	62				農村 栃木20	学生 山口25 農村 山形21			青指 北海道10				
	63				農村 秋田20	農村 山形20		学生 山口28					

* 1 59年度は国際農林業協力協会 * 2 59年度フィリピン勤労は全国産業ジュニアリーダー会議が実施
* 3 61年度に改名、それ以前は勤労青少年グループワーク協会 * 4 59年度は青年海外協力隊OB会

招へい青年の国別年度別実績

(1) 人数

	国名	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	合計
アセアン諸国	ブルネイ	5	30	49	50	50	184
	インドネシア	149	150	150	150	150	749
	マレーシア	147	148	150	150	150	745
	フィリピン	149	150	150	150	150	749
	シンガポール	149	150	150	150	150	749
	タイ	149	150	150	150	150	749
	アセアン諸國小計	748	778	799	800	800	3925
	ビルマ	0	0	10	10	0	20
太平洋諸国	フィジー	0	0	10	10	11	31
	P N G	0	0	10	14	30	54
	その他太平洋諸国	0	0	0	0	45	45
太平洋諸國小計	0	0	20	24	86	130	
	中国	0	0	0	100	100	200
	韓国	0	0	0	100	99	199
合計		748	778	829	1034	1085	4474

(2) 平均年齢

	国名	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	合計
アセアン諸国	ブルネイ	29.2	29.2	29.1	28.0	30.1	29.1
	インドネシア	26.0	26.1	26.4	27.7	27.2	26.7
	マレーシア	26.7	27.0	28.9	28.8	29.5	28.2
	フィリピン	23.6	25.8	25.8	25.9	26.0	25.4
	シンガポール	28.0	27.3	28.1	27.8	27.9	27.8
	タイ	24.2	23.8	23.7	24.1	24.2	24.0
	アセアン諸國小計	25.7	26.1	26.7	26.9	27.1	26.5
	ビルマ	—	—	33.5	33.3	—	33.4
太平洋諸国	フィジー	—	—	31.4	33.1	33.8	32.8
	P N G	—	—	29.5	32.4	29.8	30.4
	その他太平洋諸国	—	—	—	—	27.2	27.2
太平洋諸國小計	—	—	30.5	32.7	28.7	29.9	
	中国	—	—	—	31.2	32.7	32.0
	韓国	—	—	—	26.8	29.9	28.4
合計		25.7	26.1	26.9	27.5	28.0	27.0

(3) 男女の人数構成 (男性/女性)

	国名	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	合計
アセアン諸国	ブルネイ	5/ 0	26/ 4	37/ 12	35/ 15	35/ 15	138/ 46
	インドネシア	98/ 51	86/ 64	91/ 59	86/ 64	80/ 70	441/308
	マレーシア	122/ 25	125/ 23	120/ 30	116/ 34	102/ 48	585/160
	フィリピン	80/ 69	70/ 80	70/ 80	80/ 70	66/ 84	366/383
	シンガポール	80/ 69	75/ 75	84/ 66	79/ 71	78/ 72	396/353
	タイ	98/ 51	88/ 62	91/ 59	90/ 60	93/ 57	460/289
	アセアン諸国小計	483/ 265	470/ 308	493/ 306	486/ 314	454/ 346	2386 1539
	ビルマ	—	—	5/ 5	6/ 4	—	11/ 9
太平洋諸国	フィジー	—	—	5/ 5	6/ 4	7/ 4	18/ 13
	P N G	—	—	7/ 3	12/ 2	18/ 12	37/ 17
	その他太平洋諸国	—	—	—	—	26/ 19	26/ 19
太平洋諸国小計	—	—	12/ 8	18/ 6	51/ 35	81/ 49	
	中国	—	—	—	89/ 11	82/ 18	171/ 29
	韓国	—	—	—	76/ 24	75/ 24	151/ 48
合計		483/ 265	470/ 308	510/ 319	675/ 359	662/ 423	2800 1674

(4) 女性の割合 (%)

	国名	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	合計
アセアン諸国	ブルネイ	0	13	24	30	30	25
	インドネシア	34	43	39	43	47	41
	マレーシア	17	16	20	23	32	21
	フィリピン	46	53	53	47	56	51
	シンガポール	46	50	44	47	48	47
	タイ	34	41	39	40	38	39
	アセアン諸国小計	35	40	38	39	43	39
	ビルマ	—	—	50	40	—	45
太平洋諸国	フィジー	—	—	50	40	36	42
	P N G	—	—	30	14	40	31
	その他太平洋諸国	—	—	—	—	42	42
太平洋諸国小計	—	—	40	25	41	38	
	中国	—	—	—	11	18	15
	韓国	—	—	—	24	24	24
合計		35	40	38	35	39	37

(5) 公務員の人数

	国名	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	合計
アセアン諸国	ブルネイ	5	22	22	28	30	107
	インドネシア	59	40	51	39	44	233
	マレーシア	79	74	93	89	83	418
	フィリピン	54	62	32	28	35	211
	シンガポール	106	98	86	88	85	463
	タイ	28	29	23	40	41	161
アセアン諸国小計		331	325	307	312	318	1593
	ビルマ	—	—	4	6	—	10
太平洋諸国	フィジー	—	—	10	10	11	31
	P N G	—	—	1	0	7	8
	その他太平洋諸国	—	—	—	—	22	22
太平洋諸国小計		—	—	11	10	40	61
	中国	—	—	—	74	79	153
	韓国	—	—	—	24	27	51
合計		331	325	322	426	464	1868

(6) 公務員の割合(%)

	国名	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	合計
アセアン諸国	ブルネイ	100	73	45	56	60	58
	インドネシア	40	27	34	26	29	31
	マレーシア	54	50	62	59	55	56
	フィリピン	36	41	21	19	23	28
	シンガポール	71	65	57	59	57	62
	タイ	19	19	15	27	27	21
アセアン諸国小計		44	42	38	39	40	41
	ビルマ	—	—	40	60	—	50
太平洋諸国	フィジー	—	—	100	100	100	100
	P N G	—	—	10	0	23	15
	その他太平洋諸国	—	—	—	—	49	49
太平洋諸国小計		—	—	55	42	47	47
	中国	—	—	—	74	79	77
	韓国	—	—	—	24	27	26
合計		44	42	39	41	43	42

(7) 大学・大学院卒業（在学を含む）の人数

	国名	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	合計
アセアン諸国	ブルネイ	/	16	26	30	22	94
	インドネシア	/	108	92	108	93	401
	マレーシア	/	79	69	86	80	314
	フィリピン	/	142	142	145	144	573
	シンガポール	/	128	96	123	94	441
	タイ	/	90	90	96	110	386
アセアン諸國小計		/	563	515	588	543	2209
	ビルマ	-	-	6	6	-	12
太平洋諸国	フィジー	-	-	5	4	0	9
	P N G	-	-	1	5	6	12
	その他太平洋諸国	-	-	-	-	15	15
太平洋諸國小計		-	-	6	9	21	36
	中国	-	-	-	50	77	127
	韓国	-	-	-	47	80	127
合計		/	563	527	700	721	2511

(8) 大学・大学院卒業（在学を含む）の割合（％）

	国名	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	合計
アセアン諸国	ブルネイ	/	53	53	60	44	53
	インドネシア	/	72	61	72	62	67
	マレーシア	/	53	46	57	53	53
	フィリピン	/	95	95	97	96	96
	シンガポール	/	85	64	82	63	74
	タイ	/	60	60	64	73	64
アセアン諸國小計		/	72	64	74	68	70
	ビルマ	-	-	60	60	-	60
太平洋諸国	フィジー	-	-	50	40	0	29
	P N G	-	-	10	36	20	22
	その他太平洋諸国	-	-	-	-	33	33
太平洋諸國小計		-	-	30	38	24	28
	中国	-	-	-	50	77	64
	韓国	-	-	-	47	81	64
合計		/	72	64	68	66	67

招へい青年の帰国時アンケート集計結果（満足度に関して）

	日本理解の プログラム	分野別 学習	日本人青年 との討議	日本人青年 との交流	ホーム ステイ	諸施設 見学	小計	日本語 学習	日本の 食べ物	買い物	観光	京都 訪問	広島 訪問	日本の芸術 文化	表 敬 訪 問	合 計
アセアン青年 全体 (59年度)	97.2	88.6	95.4	97.5	96.8	96.6	95.3	96.5	82.3	88.8	98.9	94.7	98.0	97.8	93.9	94.5%
アセアン混成	88.9	64.0	92.9	96.2	96.0	92.6	88.8	100	71.4	89.3	100	96.2	84.6	96.4	100	90.6%
インドネシア	98.8	94.7	92.1	97.9	99.3	98.6	96.8	97.8	83.9	77.5	100	98.6	100	98.0	98.6	95.4%
マレーシア	97.2	92.1	96.5	98.6	97.5	97.1	96.5	99.3	69.8	84.4	97.2	91.4	97.9	96.5	97.9	93.8%
フィリピン	96.5	89.5	90.0	96.5	94.2	98.6	94.2	96.5	86.7	97.9	99.3	95.8	98.6	99.3	96.7	95.4%
シンガポール	97.2	87.8	97.9	97.2	98.6	99.3	96.4	94.4	91.7	93.1	100	99.3	95.7	97.2	94.4	96.0%
タイ	96.5	79.4	96.5	97.2	94.4	89.5	92.3	94.4	79.0	90.1	98.6	88.2	97.2	97.8	81.8	90.7%
アセアン青年 全体 (60年度)	95.7	84.5	95.0	97.1	97.9	94.1	94.1	93.7	80.6	90.5	98.6	91.8	96.6	95.4	90.9	93.1%
アセアン混成	93.3	75.0↓	76.7↓	96.7	98.3	93.3	88.9	90.0↓	58.3↓	85.0	100	89.8↓	93.3↑	90.0↓	91.5↓	87.9%
ブルネイ	100	85.0	100	100	100	100	97.5	95.0	75.0	100	100	94.7	95.0	100	100	96.0%
インドネシア	100	98.5	98.8↑	100	99.3	98.6	99.2	97.1	87.7	92.0↑	100	98.6	99.3	97.8	97.8	97.5%
マレーシア	98.5	95.5	96.2	98.5	99.2	98.5	97.7	100	78.2↑	80.5	98.5	82.4	99.2	95.5	99.2	94.3%
フィリピン	97.8	86.0	96.3↑	97.8	95.6	96.4	95.0	97.1	91.1	99.3	100	99.3	99.3	97.8	96.4	96.4%
シンガポール	94.2	84.3	93.5	93.5	99.3	92.8↓	93.0	92.8	89.9	92.8	98.6	97.8	97.8	95.7	84.1↓	93.4%
タイ	88.5↓	63.8↓	97.8	95.6	95.7	84.1↓	87.5	83.1↓	60.7↓	88.4	95.0	81.0↓	89.2↓	92.0↓	75.6↓	85.1%

60年度上昇（5%以上）↑

60年度下降（5%以上）↓

項目／国名・年度		ブルネイ			インドネシア			マレーシア			フィリピン			シンガポール			タイ			小計		
		61	62	63	61	62	63	61	62	63	61	62	63	61	62	63	61	62	63	61	62	63
共通 プログラム	講義 日本語 見学	97.5	95.9	97.2	97.1	98.6	95.0	90.7	95.7	97.1	92.8	96.2	97.8	94.3	93.6	94.9	96.4	94.2	93.5	95.2	95.7	96.0
		90.0	100	100	97.1	98.6	94.3	95.7	100	98.6	96.4	97.2	99.3	97.9	94.3	96.4	97.1	98.6	96.2	96.6	98.1	97.2
		100	100	100	98.6	95.7	98.6	97.8	99.3	100	99.3	100	98.5	99.3	99.3	99.3	93.0	99.3	98.5	99.3	98.9	99.1
分野別 プログラム	講義 見学 日本青年との討議 日本青年との交流 観光 ホームステイ	95.0	100	100	97.1	100	97.9	92.1	95.6	97.1	93.5	96.1	97.8	94.3	95.7	97.8	100	95.7	97.7	95.4	97.2	97.6
		100	100	100	100	97.1	99.3	96.4	99.3	100	99.3	98.5	99.3	98.6	100	99.3	97.9	97.8	100	98.4	98.8	99.5
		97.5	100	100	97.9	98.6	98.6	96.4	99.3	100	97.8	97.7	99.3	100	97.2	95.6	100	98.6	99.3	98.3	98.5	98.5
		97.4	100	100	97.9	100	100	99.3	100	99.3	99.3	100	100	100	97.2	95.6	100	97.8	99.3	99.1	99.2	98.8
		100	100	100	99.3	98.7	100	97.9	99.3	99.3	99.3	100	99.3	99.3	97.8	99.3	97.9	99.3	100	98.8	99.2	99.3
見学旅行	広島 京都	97.1	100	94.4	98.6	97.1	100	99.3	99.3	100	100	99.2	98.5	100	96.4	97.0	100	97.8	100	99.3	98.3	98.8
		97.5	100	97.2	99.3	100	100	97.5	100	99.3	100	100	98.6	100	97.8	100	99.3	97.9	99.3	98.8	99.3	98.8
小計				99.0			98.4			99.2			98.7			97.5			98.5			98.4

項目／国名・年度		中国		韓国		太平
		62	63	62	63	63
共通 プログラム	講義 日本語 見学	97.9	97.8	93.8	55.1	93.8
		86.2	92.1	72.7	76.5	96.2
		97.9	96.5	78.7	84.7	98.7
分野別 プログラム	講義 見学 日本青年との討議 日本青年との交流 観光 ホームステイ	96.8	95.5	87.5	66.7	96.3
		97.9	96.6	77.1	84.5	98.8
		99.0	100	41.1	96.0	98.8
		99.0	100	45.8	98.0	98.8
		95.9	96.6	71.0	92.9	97.5
見学旅行	広島 京都	100	92.2	79.4	78.7	98.8
		98.9	92.1	59.8	92.9	97.5
小計			96.0		83.8	97.5

(註) 韓国の62年度アンケートの翻訳に不適切な部分があった
 太平：太平洋諸国の略

予算額の推移

	昭和59年度			昭和60年度			昭和61年度			昭和62年度			昭和63年度		
	金額	対前年度 差額	伸び率	金額	対前年度 差額	伸び率	金額	対前年度 差額	伸び率	金額	対前年度 差額	伸び率	金額	対前年度 差額	伸び率
		1,065,127	1,065,127	—	1,137,746	72,619	108.82	1,205,296	67,550	105.94	1,474,009	268,713	122.29	1,596,167	122,158
対前年度 増減要因	1. 受入人数 750名			1. 受入人数 780名 (30名増)			1. アセアン青年受入人数 800名 (20名増)			1. 青年受入人数 1030名 (中国および韓国青年各100名増 合計200名増)			1. 青年受入人数 1100名 (ビルマ10名増、太平洋60名増 合計70名増)		
				2. アフターケア (イ) 同窓会運営費			2. 太平洋青年受入人数 20名			2. 日本青年のオリエンテーション 1日増 (アセアン、中国、韓国のみ)			2. アフターケア調査(6件)		
				3. プログラム監理員の現地語単価の 設定および事前準備2日増			3. ビルマ青年受入人数 10名			3. 成田空港利用税 2,000円×1030名					
										4. 現地プログラムの実施 (太平洋、ビルマ、中国、韓国)					
										5. 太平洋青年招へいは1分野を2分 野とする					

実施協力団体の概要

団体名	(社) 青少年育成国民会議	中央青少年団体連絡協議会	(財) 世界青少年交流協会	(社) 日本国際生活体験協会	(社) 全国農村青少年教育振興会
(英語名)	National Assembly for Youth Development (NAYD)	National Council of Youth Organizations in Japan	The World Youth Visit Exchange Association (WYVEA)	Japanese Association of the Experiment in International Living (E I L)	The Rural Youth Education Development Association
代表者	会長 井深 大	委員長 小久保 茂昭	会長 石原 俊	会長 長谷川 周重	会長 加賀山 國雄
設立	1965年	1951年、わが国の全国的組織を有し、かつ活動を展開する主要青少年団体の連絡調整機関として設立	1965年、1953年に西ドイツ青少年交流実行委員会が組織され、日独交流事業が開始されたことによる	1969年、ただし、ホームステイの受入は1956年より開始	1963年、各県における現場に即した活動及び総括、調整機関として設立
目的	青少年の不良、非行防止、健全な育成を図る	世界人権宣言の精神に基づき、国内及び国外の青少年団体相互の連絡・提携をはかるとともに、青少年活動の発展に寄与	青少年の2国間相互交流を行ない、各国との理解、親善を深め、世界的視野にたつ有為な青少年を育成するとともに、我が国の国際的文化の向上発展に寄与	各国の青少年が政治、宗教、人種の違いを越えて、他国の家庭生活を体験することにより、他国民の生活、文化に対する相互理解を深め、国際親善の促進と友情を育成し、国際平和に貢献することを目的	日本における、農村青少年、後継者の育成のために、その学習活動、グループ活動、社会的な貢献・活動を助長し、優秀な農業後継者の確保を目的
関係団体	ボーイスカウト、ガールスカウト、中央青少年団体連絡協議会、日本青年団協議会、世界青少年交流協会、育成協会、日本青年会議所等、177の構成団体により組織	ボーイスカウト、ガールスカウト、世界青少年交流協会、日本YMCA青少年育成国民会議、日本青年団協議会等、25の加盟団体と11の推進協力団体により構成	ボーイスカウト、ガールスカウト、日本青年団協議会等、18の協力加盟団体により構成	ユネスコ協力会より国際交流事業に対する補助を受けている 日本各地に21の地区委員会を有する	国際農友会、家の光協会、全国農業改良普及協会、農村厚生協会等、54の会員を有する
管轄省庁	総務庁	文部省の国庫補助を受ける任意団体	文部省	文部省	農林水産省
活動概要	青少年の自主的活動の育成 国際交流、少年の主張、青年シンポジウム、IYY、青年の船 健全な家庭づくりのための啓発 家庭の日、親子教室 社会環境整備のための活動	A Y C (アジア青少年団体協議会、本部 マレーシア) の日本支部として代表者の派遣、日韓定期協議会、韓国との青少年・指導者の受入と派遣、日独青少年指導者セミナー (受入と派遣) 又、I Y Y 関連では、日中友好の船受入協力、国際青年の村受入協力等による日本列島ユースアクションの展開 以上のような活動により年間約230名の受入と派遣 (派遣はその内約1/3)	海外各国 (32ヶ国) の青少年の相互交流 (派遣及び受入) 青少年の国際交流に関する調査研究 青少年の国際交流を行なう各団体との連絡	現在、40余カ国に独立した事務局があり、国際理事会で選出された国際事務局の指導の下、連携を保ちながら独自の活動を続けている A S E A N 諸国では、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイに事務局がある 毎年、約800名の日本人青年を海外に派遣し、約150名の外国青年を日本各地で受入れている	農村青少年グループの育成 技術交換大会、プロジェクト交換大会、リーダー研修 学習活動の助長 先進地留学 (国内外) 青少年育成に関する調査研究 指導者育成の方法 青少年育成のための教材作成

団体名	(社) 国際交流サービス協会	(社) 青年海外協力協会	(社) 勤労厚生協会	(財) ユースワーカー能力開発協会	(社) 日本経済青年協議会
(英語名)	International Hospitality and Conference Service Association (IHCSA)	Japan Overseas Cooperative Association (JOCA)	The Working Youth Welfare Association	Development Association for Youth (DAY)	Junior Executive Council of Japan (JEC)
代表者	会長 都倉 栄二	会長 保坂 努	理事長 宮川 房夫	会長 山本 登	代表幹事 阿南 惟正
設立	1970年、国際交流活動の実践面において、効果的に機能する専門家集団の誕生が強く要請され設立	1983年	1973年、(任)厚生保健協会として活動していたものが前身	1969年、(任)伸びゆく青年の会として活動していたものが前身 1985年までは(財)勤労青少年グループワーク協会(Group Work Association for Youth)	1957年、経済4団体の事務局の支援を受け設立
目的	招待外交、国際会議、その他政府の行なう国際交流活動に積極的に貢献するとともに、政府の施策に呼応して、広く国際総理解の促進を図りもって我が国と、諸外国との親善に寄与	開発途上国で海外協力活動に従事したものの経験を日本社会に還元し、日本の開発教育の一助とするとともに国際化を促進	日本産業と社会を背負うたくましい勤労青少年を育成することを目的	時代を担う青少年に、体育、文化、スポーツ、レクリエーションの機会、施設を提供することにより、積極的な余暇活動を振興し、心身ともに健全で有為な人材の育成に寄与	各企業の中堅管理職の総合啓発と国際交流の促進を目的
関係団体	——	青年海外協力隊OB会	企業等約70の会員	企業等約70の会員	企業等約300の会員
管轄省庁	外務省	外務省	労働省	労働省	労働省
活動概要	訪日外国人接遇業務、海外旅行業務国際研修業務の3本の柱を有機的に結合させることによって、国際交流の分野でユニークなサービス活動を展開	開発途上国への技術協力活動に対する支援活動 青年海外協力隊活動に対する支援・啓蒙活動 国、地方自治体の国際的行事に対する側面からの支援活動 青年海外協力隊経験者の国際的な活動への支援活動	勤労青少年の健全育成のための活動 企業の独身寮における集団生活のリーダーの養成 寮生活指導者のための寮管理者の育成 グアム、サイパン洋上研修 ジャパン・ヤング・サークルサロンセミナーの実施 日豪ワーキングホリデーへの協力	青少年の野外教育活動の振興 サンサン運動 IYY関係 クリーンキャンペーン モルジブとの親善運動 いじめられない子育成部会での、110番の設置	労務対策、調査研究活動、広報出版 国際協力、経営依託教育、その他の各種セミナー活動 約50ヶ国加盟のWorld Councilに加盟し、国際交流、自己啓発、社会奉仕活動を行なう フィリピン、ホンコン洋上研修 野外研修

調査団派遣実績 (実施協力団体別)

実施協力団体名	派 遣 実 績
青少年育成国民会議	59年度 小久保副会長 61年度 上村事務局長 62年度 上村事務局長 63年度 上村事務局長 ブルネイ、マレーシア、タイ PNG 韓国 マレーシア
中央青少年団体連絡協議会	60年度 今井副委員長長 61年度 小久保委員長長 63年度 佐藤副委員長長 ブルネイ、マレーシア、タイ 韓国 中国 (中止)
世界青少年交流協会	58年度 居崎事務局次長 61年度 居崎事務局次長 63年度 居崎事務局次長 マレーシア、シンガポール 中国 ミクロネシア、マーシャル、パラオ
日本国際生活体験協会	61年度 松丸事務局次長 インドネシア、タイ
全国農村青少年教育振興会	62年度 藤田事務局長 ブルネイ、マレーシア、ビルマ
日本経済青年協議会	58年度 今村理事 63年度 今村理事 インドネシア、フィリピン、タイ ブルネイ、インドネシア、シンガポール
勤労厚生協会	62年度 宮川理事長 インドネシア
ユースワーカー能力開発協会	59年度 堀添理事長 62年度 堀添理事長 インドネシア、フィリピン、シンガポール 中国
国際交流サービス協会	61年度 吉田常務理事 63年度 吉田常務理事 ブルネイ、マレーシア、フィリピン 韓国
青年海外協力協会	60年度 木村事務局長 63年度 木村事務局長 インドネシア、フィリピン、シンガポール、ビルマ マレーシア、フィリピン、タイ
国際協力サービス・センター	60年度 倉林部長 63年度 山本部長 インドネシア、フィリピン、シンガポール、ビルマ ブルネイ、インドネシア、シンガポール

都道府県庁の窓口

	研修員受入れの窓口	JOCVの窓口	移住の窓口	国際交流の窓口
北海道	総務部 知事室 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
青森	総務部 文書課 総務部 総務学事課 国際交流室	(同左) (同左)	(同左) (同左)	(同左) (同左)
岩手	総務部 総務課 国際交流室	(同左)	(同左)	(同左)
宮城	企画調整部 企画調整課 企画調整部 企画調整課	(同左) (同左)	(同左) (同左)	(同左) (同左)
秋田	企画調整部 企画調整課 企画調整部 企画調整課	(同左) (同左)	(同左) (同左)	(同左) (同左)
山形	生活福祉部 県民生活課 国際交流室	(同左)	(同左)	(同左)
福島	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
茨城	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
栃木	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
群馬	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
埼玉県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
千葉県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
東京都	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
神奈川県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
新潟県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
長野県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
静岡県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
富山県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
石川県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
福井県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
岐阜県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
愛知県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
三重県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
滋賀県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
京都府	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
大阪府	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
兵庫県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
奈良県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
和歌山県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
鳥取県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
島根県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
岡山県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
広島県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
徳島県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
香川県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
愛媛県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
高知県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
福岡県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
佐賀県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
長崎県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
熊本県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
大分県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
宮崎県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
鹿児島県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)
沖縄県	生活福祉部 県民生活課 国際交流課	(同左)	(同左)	(同左)

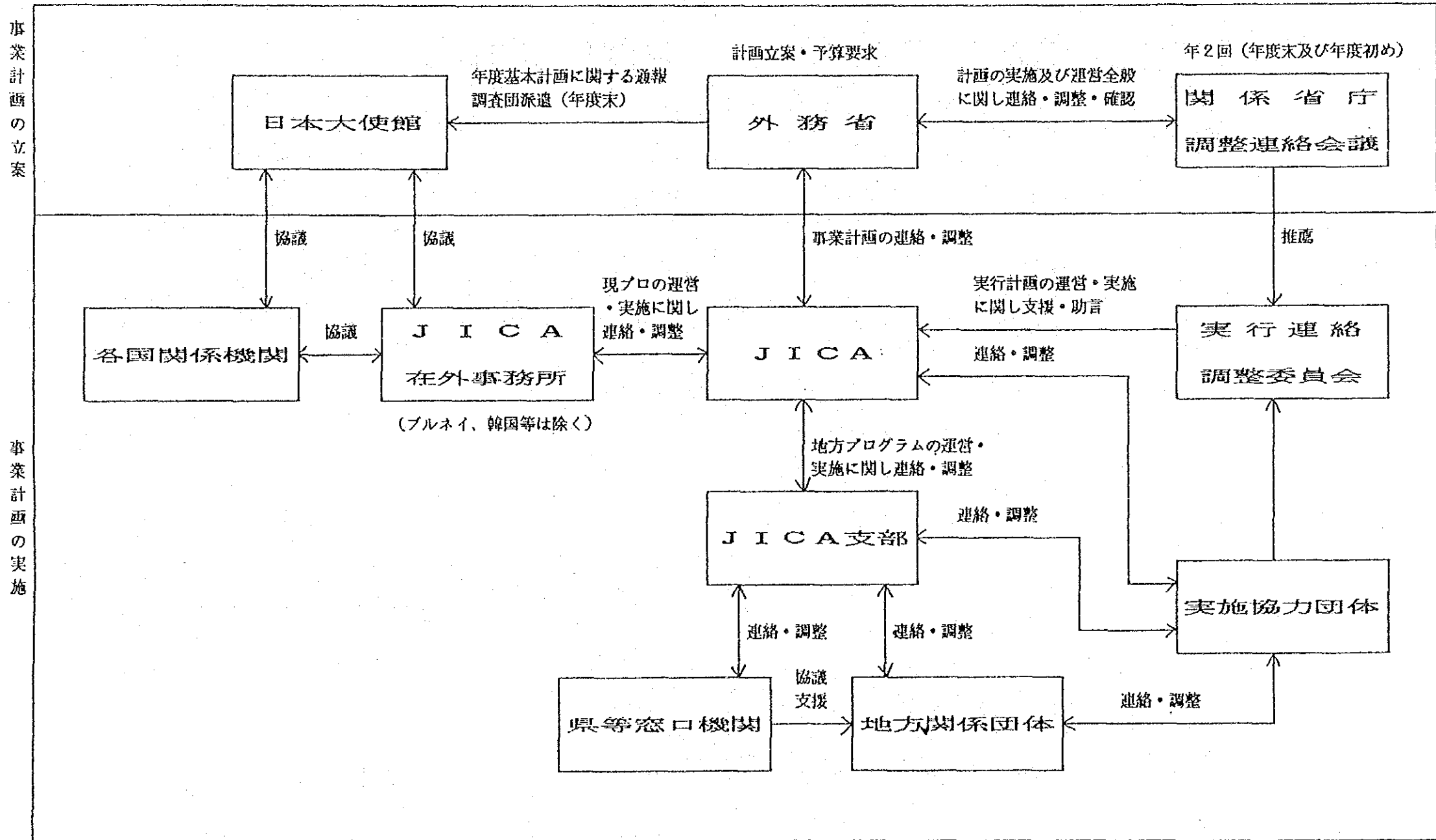
(注) 国際交流の窓口とは、青年招へいを含め国際交流の都道府県における一元の窓口

青年招へいを特記してある場合には、青年招へいのみの一元の窓口

九州支都管内の各県の国際交流の窓口は、青年招へいのみの窓口

関東支都管内の各県の国際交流の窓口は、一元的には統一されていない

事業実施体制



他の青年招へい事業

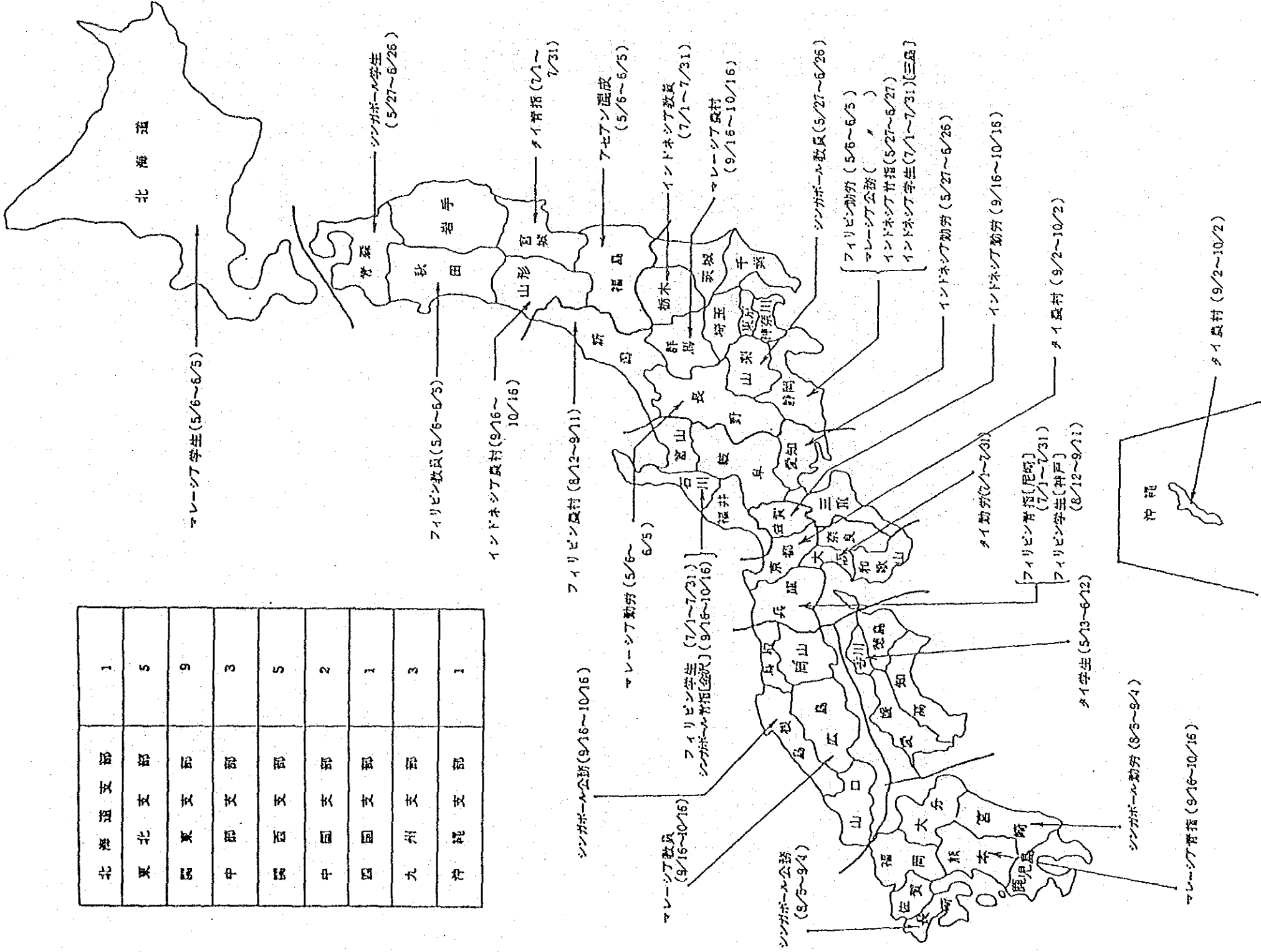
事項 / 名称	文化交流の一環として行なう東南アジア諸国(ASEANおよびピルマ)青年招聘	太平洋島嶼国青年日本研修計画	中国青年招聘計画	日韓青少年交流		中近東青年招聘計画	南アジア青年招聘計画	中南米青年日本研修計画
				日韓青少年交流計画	韓国大学生招聘			
1. 対象	各国の最高級大学(又はその他の教育機関)の学生、若手の学者、文化人等将来その国の指導層を形成する青年	西サモア、トンガ、ヴァヌアツ、キリバス等南太平洋島嶼国の各大学、政府等の推薦者	中国において、将来各界の指導的立場に就くべき優秀な青年	日本語専攻大学生、高校の日本語教師、基幹農漁村青年	大学生	将来を嚆望されている中近東青年を招聘	インド、パキスタン、バングラデシュ、スリ・ランカ、ナパール、モルディヴ、ブータンの将来指導的立場に就くべき青年を招聘	将来各界の指導的地位に就くべき優秀な青年を招聘
2. 人数 (63年度計画)	70名	7名	120名	60名	110名	10名	55名	50名
3. 目的	一般的政治、経済、文化の視察を通じて、相互理解を深めることを目的とし、文化交流の性格を有する	一般的政治、経済、文化の視察を通じて、相互理解を深めることを目的とし、文化交流の性格を有する	中国の次代を担う青年を訪日させることにより、先進資本主義国として、中国と国情の異なる我が国を見聞せしめ、対日理解および相互理解を深めることを目的とし、文化交流の性格を有する	一般的政治、経済、文化の視察を通じて、相互理解を深めることを目的とし、文化交流の性格を有する	一般的政治、経済、文化の視察を通じて、相互理解を深めることを目的とし、文化交流の性格を有する	両国の「かけ橋」となるべき人物を育成	対日理解の増進を図る	将来の友好協力関係の強化を図る
4. 滞在期間	10日前後 一般的事情視察	14日前後 一般的事情視察	18日間 日中事業についてブリーフィング、関係教育機関、各種研究施設等訪問、家庭訪問および地方見学	10日前後 関係教育機関、各種研究施設等訪問、家庭訪問および地方見学	10日前後 関係教育機関、各種研究施設等訪問、家庭訪問および地方見学	約2週間 外務省局長表敬、日本事情の講義、新聞社見学、ディズニーランド見学、ホームステイを含めた地方旅行	10日前後 殿下謁見、外務大臣表敬、講演会、日本青年との討論会、新聞社、NTT、東大見学、ディズニーランド見学、京都・大阪・広島旅行	約2週間 殿下謁見、外務大臣表敬、政治・経済・社会の講演、産業・科学施設見学、京都・神戸・広島旅行、名古屋でホームステイ
5. 効果	将来の東南アジア諸国の政治、経済、文化関係の指導者との関係を強化、維持できる	太平洋島嶼諸国の青年層の対日関心を高め、親日層を育てあげること、今後の対大洋州外交を進めるに当たり大きな意義を有する	相互理解に立脚した健全な日中関係の発展を確保するとともに、将来、我が国外交の遂行を円滑にすることができる	相互理解に立脚した健全な日韓関係の発展を確保するとともに、将来、我が国外交の遂行を円滑にすることができる				

	日本・中国青年親善交流	青年の船	外国青年招へい事業
1. 目的及び対象	20名の中国青年（青年活動のリーダー）の受入れおよび20名の日本青年（青年活動のリーダー）の派遣	70名の外国青年の受入れ、および約260名の日本青年（青年活動のリーダー）のアジアへの派遣	アジア、中近東、中南米、欧米、アフリカ等から200名の外国青年の受入れ
2. 開始年度	昭和54年度	昭和42年度	昭和37年度
3. 日本滞在期間	約2週間	約2週間 (1月8日～1月20日)	約2週間 (7月23日～8月7日)
4. 内容	東京で4～5日 地方は5～6県を訪問し、各地でホームステイ等	総務庁表敬、先端産業視察、伝統文化視察、博物館の見学 青年の船日本団員との交流等 地方は5泊6日	国際青年の村参加、地方でのホームステイ等

Ⅱ 昭和59年度ASEAN青年招へい事業

地方実施県(地図)

北海道支部	1
東北支部	5
関東支部	9
中部支部	3
関西支部	5
中国支部	2
四国支部	1
九州支部	3
沖縄支部	1



受 入 実 績

国 名	分 野	受 入 計 画 数	受 入 実 績 数								受 入 率 (%)	
			5月6日	5月13日	5月27日	7月1日	8月5日	8月12日	9月2日	9月16日		合 計
合 計		750	123	38	88	166	54	52	38	189	748	99.7%
ブルネイ	アセアン	5	5								5	100
	小 計	5	5								5	100%
インドネシア	アセアン 青年 (A)	5	5								5	100
	アセアン 青年 (A) 指導者	24			22						22	92
	アセアン 青年 (A) 指導者	24			24						24	100
	アセアン 青年 (A) 指導者	24				22					22	92
	アセアン 青年 (A) 指導者	24				23					23	96
	アセアン 青年 (B)	24							26		26	108
アセアン 青年 (B) 指導者	24							27		27	113	
小 計	149	5		46	45				53	149	100%	
マレーシア	アセアン 青年	5	5								5	100
	アセアン 青年 指導者	20	20								20	100
	アセアン 青年 指導者	17	17								17	100
	アセアン 青年 指導者	18	18								18	100
	アセアン 青年 指導者	30							30		30	100
	アセアン 青年 指導者	29							27		27	93
小 計	149	60							87	147	99%	
フィリピン	アセアン 青年	5	5								5	100
	アセアン 青年 指導者	24	16								16	67
	アセアン 青年 指導者	24	23								23	96
	アセアン 青年 指導者	24			24						24	100
	アセアン 青年 指導者	24			29						29	121
	アセアン 青年 指導者	24						20			20	83
アセアン 青年 指導者	24						32			32	133	
小 計	149	44			53			52		149	100%	
シンガポール	アセアン 青年	5	4								4	80
	アセアン 青年 指導者	30			30						30	100
	アセアン 青年 指導者	12			12						12	100
	アセアン 青年 指導者	25						25			25	100
	アセアン 青年 指導者	31						29			29	94
	アセアン 青年 指導者	20							22		22	110
アセアン 青年 指導者	26							27		27	104	
小 計	149	4		42		54			49	149	100%	
タイ	アセアン 青年	5	5								5	100
	アセアン 青年 指導者	38		38							38	100
	アセアン 青年 指導者	38				38					38	100
	アセアン 青年 指導者	30				30					30	100
	アセアン 青年 指導者	38							38		38	100
小 計	149	5	38		68			38		149	100%	

実施協力団体

受入日	国名	分野名	人数	実施協力団体	地方関係団体
5/6-6/5	フィリピン マレーシア	アセアン 都市勤労青年 教員 学生 都市勤労青年 公務員	29 23 16 20 18 17	(社) 青少年育成国民会議 (財) 全国産業ジュニアリーダー会議 (財) 世界青少年交流協会 (任) 中央青少年団体連絡協議会 (社) 日本経済青年協議会	福島県生活福祉部青少年婦人課 遠州ジュニアリーダー会議(静岡) 秋田市教育委員会社会教育課 北海道青少年団体連絡協議会 日本経済青年協議会長野支部 日本経済青年協議会静岡支部
5/13-6/12	タイ	学生	38	(財) 世界青少年交流協会	香川県青少年対策室
5/27-6/28	インドネシア シンガポール	青年指導者 都市勤労青年 学生 教員	24 22 12 30	(社) 日本経済青年協議会 (社) 勤労厚生協会 (任) 中央青少年団体連絡協議会 (社) 国際交流サービス協会	日本経済青年協議会静岡支部 ジャパンヤングサークル東海支部(愛知) 青森県青少年団体連絡協議会 青少年のための山梨県民会議
7/1-7/31	インドネシア タイ フィリピン	学生 教員 青年指導者 都市勤労青年 学生 青年指導者	23 22 30 38 29 24	(財) 世界青少年交流協会 (社) 国際交流サービス協会 (任) 中央青少年団体連絡協議会 (社) 日本経済青年協議会 (社) 日本国際生活体験協会	アセアン青年交流歓迎委員会(三島) 栃木県インドネシア友好会の会 仙台YMCA同盟 関西経営者協会(大阪) 体験協会地区委員会(石川) (尼崎)
8/5-9/4	シンガポール	都市勤労青年 公務員	25 29	(財) 勤労青少年グループワーク協会 (社) 国際交流サービス協会	グループワーク協会宮崎県支部 長崎県海外協会
8/12-9/11	フィリピン	農村青年 学生	20 32	(社) 国際農林業協力協会 (財) 世界青少年交流協会	全国農村青少年教育振興会(新潟) 世界青年友の会(神戸)
9/2-10/1	タイ	農村青年	38	(任) 青年海外協力隊OB会	沖縄県OB会/京都府OB会
9/16-10/16	インドネシア シンガポール マレーシア	農村青年 都市勤労青年 青年指導者 公務員 教員 農村青年 青年指導者	26 27 22 27 30 27 30	(任) 中央青少年団体連絡協議会 (社) 勤労厚生協会 (財) 世界青少年交流協会 (社) 国際交流サービス協会 (社) 日本国際生活体験協会 (社) 国際農林業協力協会 (任) 青年海外協力隊OB会	立川町青年団(山形) 滋賀県国際友好親善協会 金沢市教育委員会 島根県国際交流青友会 体験協会地区委員会(広島) 全国農村青少年教育振興会(群馬) 熊本県OB会

、コーディネーター配置

受入日	国名	分野名	人数	実施団体	地方関係団体	JICA配置コーディネーター氏名	プログラムコーディネーター氏名
5/6-6/5	フィリピン マレーシア	アセアン 都市勤労青年 教員 学生 都市勤労青年 公務員	29 23 16 20 18 17	(社) 青少年育成国民会議 (財) 全国産業ジュニアリーダー会議 (財) 世界青少年交流協会 (任) 中央青少年団体連絡協議会 (社) 日本経済青年協議会	福島県生活福祉部青少年婦人課 遠州ジュニアリーダー会議 秋田市教育委員会 北海道青少年団体連絡協議会 長野県経営者協会 静岡県経営者協会	岡部昭子 飯田 護 吉村順邦 野口美知 青島多津子 池田ちか子 田村陽子 長谷川洋子 三上義一 志賀典子 小林 保 松田まゆみ	吹野みづえ 大野栄三 中川原徹 丸山良雄 佐藤忠良 倉持昭弘 高見令英
5/13-6/12	タイ	学生	38	(財) 世界青少年交流協会	香川県青少年対策室	天野和子 福山敦夫 岡本 昭	臼井千里
5/27-6/26	インドネシア シンガポール	青年指導者 都市勤労青年 学生 教員	24 22 12 30	(社) 日本経済青年協議会 (社) 勤労厚生協会 (任) 中央青少年団体連絡協議会 (社) 国際交流サービス協会	静岡県経営者協会 勤労厚生協会関西支部 日本青年協会 山梨県青年のための県民会議	西広咲子 遠藤厚子 福島綾子 原田紀子 久保田賢一 行徳恭子 大島みゆき	津村明志 鹿沼安弘 佐藤忠良 飯田典正
7/1-7/31	インドネシア タイ フィリピン	学生 教員 青年指導者 都市勤労青年 学生 青年指導者	23 22 30 38 29 24	(財) 世界青少年交流協会 (社) 国際交流サービス協会 (任) 中央青少年団体連絡協議会 (社) 日本経済青年協議会 (社) 日本国際生活体験協会	三島市教育委員会 栃木県インドネシア友好の会 日本YMCA同盟仙台 関西経営者協会 体験協会地区委員会	田村陽子 原田紀子 佐藤宏文 小林 保 西広咲子 天野和子 岡本 昭 福山敦夫 伊藤周一 大島みゆき 三上義一 青島多津子 飯田 護 吉村順邦	牧尾春奈 飯田典正 山田順子 津村明志 松丸信男 加藤淑子
8/5-9/4	シンガポール	都市勤労青年 公務員	25 29	(財) 勤労青少年グループワーク協会 (社) 国際交流サービス協会	グループワーク協会宮崎支部 長崎県海外協会	行徳恭子 三上義一 遠藤厚子 吉村順邦	阪本時彦 吉見裕子
8/12-9/11	フィリピン	農村青年 学生	20 32	(社) 国際農林業協力協会 (財) 世界青少年交流協会	全国農村青少年教育振興会 世界青少年友の会	町田郁美 青島多津子 飯田 護 鈴木智子	藤田康樹 牧尾春奈
9/2-10/1	タイ	農村青年	38	(任) 青年海外協力隊OB会	沖縄県OB会、京都府OB会	天野和子 浅利友重 福山敦夫 橋本 卓	伊藤 稔(京都) 山城直子(沖縄)
9/16-10/16	インドネシア シンガポール マレーシア	農村青年 都市勤労青年 青年指導者 公務員 教員 農村青年 青年指導者	26 27 22 27 30 27 30	(任) 中央青少年団体連絡協議会 (社) 勤労厚生協会 (財) 世界青少年交流協会 (社) 国際交流サービス協会 (社) 日本国際生活体験協会 (社) 国際農林業協力協会 (任) 青年海外協力隊OB会	山形県日本青年団体協議会 勤労厚生協会関西支部 金沢市教育委員会 青友会 体験協会地区委員会 全国農村青少年教育振興会 熊本県OB会	原田紀子 松田まゆみ 西広咲子 石橋八千代 吉村順邦 葉山アツコ 行徳恭子 久澄明美 飯田 護 岡田美智子 小林 保 長谷川洋子 田村陽子 青島多津子 (三上義一)	山田順子 寺井 昇 志水正子 吉見裕子 松丸信男 藤田康樹 姥浦浩子

* _____ は現地派遣コーディネーターを示す。

アセアン青年内訳

第一陣

国名	グループ名	男		女		性		小計	女性の割合%	備考
		人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢			
マレーシア	学生	13	22.5	7	22.4	20	22.5	35		
"	都市勤務青年	14	28.5	4	27.5	18	28.3	22		
"	公務員	14	27.9	3	27.7	17	27.9	18		
小計		41	26.4	14	25.0	55	26.0	25		
フィリピン	都市勤務青年	13	26.2	10	24.2	23	25.3	43	1名来日遅れ	
"	教員	9	24.3	7	25.0	16	24.6	44		
小計		22	25.4	17	24.5	39	25.0	44		
アセアン	マレーシア	5	28.8	0	-	5	28.8	0	1名早期帰国	
"	フィリピン	2	27.0	3	24.0	5	25.2	60	2名早期帰国	
"	シンガポール	2	28.0	2	27.0	4	27.5	50	1名早期帰国	
"	インドネシア	5	28.4	0	-	5	28.4	0		
"	タイ	2	27.5	3	26.0	5	26.6	60		
"	ブルネイ	5	29.2	0	-	5	29.2	0		
小計		21	28.4	8	25.5	29	27.6	28		
第一陣合計		84	26.7	39	24.9	123	26.1	32		

第二陣

タイ	学生	21	22.5	17	23.0	38	22.8	45
第二陣合計		21	22.5	17	23.0	38	22.8	45

第三陣

シンガポール	学生	9	21.7	3	20.0	12	21.3	25
"	教員	8	28.0	22	28.1	30	28.1	73
小計		17	24.7	25	27.1	42	26.1	60
インドネシア	青年指導者	18	27.3	6	24.0	24	26.1	25
"	都市勤務青年	17	28.4	5	26.4	22	27.9	23
小計		35	27.6	11	25.0	46	27.0	24
第三陣合計		52	26.7	36	26.5	88	26.6	41

第四陣

タイ	青年指導者	18	24.8	12	25.5	30	25.1	40
"	都市勤務青年	31	25.6	7	24.3	38	25.4	18
小計		49	25.3	19	25.1	68	25.3	28
フィリピン	学生	14	20.5	15	20.4	29	20.5	52
"	青年指導者	15	24.9	9	25.9	24	25.3	38
小計		29	22.9	24	22.4	53	22.6	45
インドネシア	教員	12	27.2	11	23.2	23	25.3	48
"	学生	16	26.4	6	24.8	22	26.0	27
小計		28	26.7	17	23.9	45	25.6	43
第四陣合計		106	25.0	80	23.6	166	24.5	36

第五陣

国名	グループ名	男性		女性		小計		女性の割合%	備考
		人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢		
シンガポール	都市勤労青年公務員	15	28.5	10	27.5	25	28.1	40	1名早期帰国 1名私的滞在
"	"	14	29.6	15	28.2	29	28.9	52	
第五陣	合計	29	29.0	25	27.9	54	28.5	46	

第六陣

フィリピン	学生	16	20.9	16	22.7	32	21.8	50
"	農村青年	11	25.4	9	26.1	20	25.7	45
第六陣	合計	27	22.7	25	23.9	52	23.3	48

第七陣

タイ	農村青年	26	22.8	12	24.8	38	23.4	32
第七陣	合計	26	22.8	12	24.8	38	23.4	32

第八陣

シンガポール	青年指導者公務員	17	29.6	5	29.0	22	29.5	23	1名私的滞在
"	"	15	29.7	12	28.2	27	29.0	44	
小計	合計	32	29.6	17	28.4	49	28.2	35	
インドネシア	都市勤労青年	15	26.8	12	25.8	27	26.3	44	
"	農村青年	15	24.6	11	23.9	26	24.3	42	
小計	合計	30	25.7	23	24.9	53	25.3	43	
マレーシア	農村青年	24	28.6	3	26.0	27	26.3	11	
"	青年指導者	28	28.6	2	29.0	30	28.7	7	
"	教員	24	24.6	6	22.3	30	24.2	20	
小計	合計	76	27.4	11	24.5	87	27.0	13	
第八陣	合計	138	27.5	51	26.0	189	27.1	27	
第一～第八陣	合計	483	26.1	265	25.0	748	25.7	35	

アセアン青年来日時における内訳(国別)

国名	男性		女性		小計		女性の割合%	備考
	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢		
ブルネイ	5	28.2	0	-	5	28.2	0	
インドネシア	98	26.8	51	24.8	149	26.0	34	
マレーシア	122	27.1	25	24.8	147	26.7	17	
フィリピン	80	23.6	69	23.5	149	23.6	48	
シンガポール	80	28.3	69	27.7	149	28.0	48	
タイ	98	24.1	51	24.4	149	24.2	34	
合計	483	26.1	265	25.0	748	25.7	35	

アセアン青年来日時における内訳(グループ別)

グループ名	男性		女性		小計		女性の割合%	備考
	人数	年齢	人数	年齢	人数	年齢		
アセアン	21	28.4	8	25.5	29	27.6	28	
都市勤労青年	105	27.1	48	25.8	153	26.7	31	
青年指導者	96	27.2	34	25.3	130	26.7	26	
教員	57	25.5	41	26.2	98	25.8	42	
学生	85	22.4	69	22.2	154	22.3	45	
農村青年	76	25.4	35	25.0	111	25.2	32	
公務員	43	29.1	30	28.2	73	28.7	41	
合計	483	26.1	265	25.0	748	25.7	35	

第一陣

国名	グループ名	公務員	民間	記者	学生	教師	自営	その他	小計
マレーシア	生年 都市勤務	0	0	0	20	0	0	0	20
"	学都公	12	3	1	0	2	0	0	18
"	務	17	0	0	0	0	0	0	17
小	計	29	3	1	20	2	0	0	55
フィリピン	都市勤務 青年員	15	5	3	0	0	0	0	23
"	教	0	0	0	0	16	0	0	16
小	計	15	5	3	0	16	0	0	39
	7セ7ン	28	0	0	0	1	0	0	29
第一陣	合計	72	8	4	20	19	0	0	123

第二陣

タイ	学生	3	0	1	29	5	0	0	38
第二陣	合計	3	0	1	29	5	0	0	38

第三陣

シンガポール	学教	1	0	0	9	2	0	0	12
"	生員	12	0	0	0	18	0	0	30
小	計	13	0	0	9	20	0	0	42
インドネシア	青年指導者 都市勤務	8	1	0	14	0	0	1	24
"	青年	18	1	0	0	0	2	1	22
小	計	26	2	0	14	0	2	2	46
第三陣	合計	39	2	0	23	20	2	2	88

第四陣

タイ	青年指導者 都市勤務	6	3	1	10	6	0	4	30
"	青年	7	17	1	8	4	1	0	38
小	計	13	20	2	18	10	1	4	68
フィリピン	青年指導者 学	17	3	0	0	0	0	4	24
"	生	5	0	0	24	0	0	0	29
小	計	22	3	0	24	0	0	4	53
インドネシア	員生	0	0	0	0	21	0	1	22
"	教	1	0	0	21	0	0	1	23
小	計	1	0	0	21	21	0	2	45
第四陣	合計	36	23	2	63	31	1	10	166

第五陣

シンガポール	グループ名	公務員	民間	記者	学生	教師	自営	その他	小計
"	都市勤務 青年員	14	10	0	1	0	0	0	25
"	務	29	0	0	0	0	0	0	29
第五陣	合計	43	10	0	1	0	0	0	54

第六陣

アイリピン	農学	農村青年	12	2	0	2	0	1	3	20
"		生	0	1	0	31	0	0	0	32
第六陣	合計		12	3	0	33	0	1	3	52

第七陣

タイ	農村青年	7	0	1	0	1	29	0	38
第七陣	合計	7	0	1	0	29	0	38	

第八陣

マレーシア	青年指導者	26	1	0	0	2	1	0	0	30
"	農村青年	0	0	0	30	0	0	0	0	30
"	計	19	4	1	0	2	0	2	1	27
小		45	5	1	0	32	3	1	87	
シンガポール	公務員	27	0	0	0	0	0	0	0	27
"	青年指導者	19	2	1	0	0	0	0	0	22
小		46	2	1	0	0	0	0	0	49
インドネシア	農村青年	11	0	0	15	0	0	0	0	28
"	都市勤労青年	17	4	0	4	1	1	0	0	27
小		28	4	0	19	1	1	0	0	53
第八陣	合計	119	11	2	19	33	4	1	189	

< 国別職種内訳 >

国	名	公務員	民間	記者	学生	教師	自営	その他	合計
ブルドネ	イ	5	0	0	0	0	0	0	5
インドネ	シア	59	6	0	54	23	3	4	149
マレー	シア	79	8	2	20	34	3	1	147
フィリ	ピン	54	1	3	57	16	1	7	149
インド	ネシア	10	2	1	0	20	0	0	49
タイ		28	4	0	19	1	1	0	53
合計		331	57	10	188	109	37	16	748
		44	8	1	25	15	5	2	100

< グループ別職種内訳 >

グループ	名	公務員	民間	記者	学生	教師	自営	その他	合計
公務員	10	1	0	0	0	1	0	0	102
青年指導者	12	0	0	0	0	85	0	1	98
学生	76	1	2	24	1	8	1	9	130
都市勤労青年	10	1	1	34	1	7	0	1	54
農村勤労青年	83	4	5	13	1	7	4	1	111
合計		331	57	10	188	109	37	16	748
		44	8	1	25	15	5	2	100

評価会での青年の発言

国名	研修的事項(講義・セミナーetc)	体験的事項(ホームステイetc)	交流的事項	文化的事項(見学・視察旅行etc)	その他
5/ 6- 6/ 5 混成グループ(29)	<ul style="list-style-type: none"> 講義が多い 講義内容にダブリ 	<ul style="list-style-type: none"> ホームステイは効果的 	<ul style="list-style-type: none"> 公的な場での日本青年の発言が少(非公式だと会話が出来る) 知的レベルが低い 問題意識を持っていない 	<ul style="list-style-type: none"> 神社・仏閣は1、2で充分 同種の施設訪問は不要 	<ul style="list-style-type: none"> 移動が多くtoo tight
同名	研修的事項(講義・セミナーetc)	体験的事項(ホームステイetc)	交流的事項	文化的事項(見学・視察旅行etc)	その他
5/ 6- 6/ 5 タイ学生(38)	<ul style="list-style-type: none"> 現地プロと日本での講義に連帯性を 理論より応用面の内容を 	<ul style="list-style-type: none"> 家族による適度なケアを 英語のわかる人のいる家庭を 	<ul style="list-style-type: none"> 討論テーマを早めに知らせて グループ形式での討論を 	<ul style="list-style-type: none"> 似たような見学施設訪問はさけて 見学先での通訳に配慮を 	<ul style="list-style-type: none"> 資料は前もって配布を 日本語の資料はさけて 日本におけるスラム問題を知りたい
7/ 1- 7/31 タイ勲労(38)	<ul style="list-style-type: none"> 講義内容が似ており「経済発展」に終始している 		<ul style="list-style-type: none"> 交流の機会が少ない 日本青年へのオリエンテーション不足 	<ul style="list-style-type: none"> 視察場所が興味に合わない 	
7/ 1- 7/31 タイ青指(30)	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーションが多すぎる 		<ul style="list-style-type: none"> よりインフォーマルな交流を 		<ul style="list-style-type: none"> 食事のメニューに工夫を プログラムコーディネーターは責任のある対応を
9/ 2-10/ 1 タイ農村(18)	<ul style="list-style-type: none"> 講義内容が難解 日本農業の背景を講義ですすめてもらいたい 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の普通の農家でホームステイを 何世代の日本人青年との実習体験(農作業etc)を 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人青年には農業関係者が少ない スポーツによる交流を含むなど量的にもっと多く 		<ul style="list-style-type: none"> 配布資料はタイ語のものを 日本語講師はタイ語のわかる人を
9/ 2-10/ 1 タイ農村(20)	<ul style="list-style-type: none"> 講義内容が専門的 	<ul style="list-style-type: none"> ホームステイ家庭には農家を 農業体験を入れて 	<ul style="list-style-type: none"> 子供達との交流は楽しめた スポーツ交流を多く 	<ul style="list-style-type: none"> 農業関係の見学先が少ない 広島復興に感動 	<ul style="list-style-type: none"> 食事は3食ともアレンジを
同名	研修的事項(講義・セミナーetc)	体験的事項(ホームステイetc)	交流的事項	文化的事項(見学・視察旅行etc)	その他
5/ 6- 6/ 5 フィリピン教員(16)	<ul style="list-style-type: none"> 講義が多い 教育について詳細に渡った講義を 時間的に十分に質問ができない 現プロと共プロに重複 	<ul style="list-style-type: none"> ホームステイは1人1家庭に 	<ul style="list-style-type: none"> 日本青年は英語ができない 日本青年は年齢が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 興味のない施設があった 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語で書かれたテキストがあった 移動が多くtoo tight
5/ 6- 6/ 5 フィリピン勲労(23)	<ul style="list-style-type: none"> 講義が多い 内容にダブリ 現プロと共プロに重複 	<ul style="list-style-type: none"> ホームステイは実施されず失望 	<ul style="list-style-type: none"> 日本青年は英語ができない 教育レベルが低い 		<ul style="list-style-type: none"> 食事にバラエティーを
7/ 1- 7/31 フィリピン学生(29)	<ul style="list-style-type: none"> 共プロがきつい 講義-視察という一日スケジュール 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統的家居、生活様式をもつ家庭でホームステイを 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の夏休みで学校訪問が少なく残念 		<ul style="list-style-type: none"> 各国アセアン青年の討論、交流の機会を 独習できるように早めに日本語テキストを
7/ 1- 7/31 フィリピン青指(24)		<ul style="list-style-type: none"> ホームステイ中はゆっくり家庭で過ごしたい 	<ul style="list-style-type: none"> 日本青年が異なった分野の青年のためか話し合いがかみあわない 		<ul style="list-style-type: none"> 共プロ実施中他国の青年との宿泊を
8/12- 9/11 フィリピン農村(20)	<ul style="list-style-type: none"> 日本の農業制度、農協についてもっと学びたい 		<ul style="list-style-type: none"> 討論の時間が短い 農業についての討論を 大人数のため充分話し合えない 	<ul style="list-style-type: none"> 広島を長くし原爆の勉強を 	
8/12- 9/11 フィリピン学生(32)	<ul style="list-style-type: none"> 共プロ中、午前、午後講義というのはきつい 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の田舎での生活を体験又は見学したい 	<ul style="list-style-type: none"> 地方での交流では、日本青年の海外の問題に対する無感心さと英語力の低さを感じた 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み中で各種学校の見学が不十分であった 	<ul style="list-style-type: none"> 前日の深夜に到着し、翌朝からのプログラムできつい

国名	研修的事項(講義・セミナーetc)	体験的事項(ホームステイetc)	交流的事項	文化的事項(見学・視察旅行etc)	その他
5/27- 6/26 インドネシア青指 (24)	・現プロ実施中に日本での詳細なプログラム内容を	・ホームステイを一週間程に	・カウンターパートと接する機会が少なすぎる ・公務員との交流の機会を	・寺社、仏閣の見学は1つで充分	・日本青年へのPR不足
5/27- 6/26 インドネシア勤労 (22)	・質疑応答の時間を長く ・日本語学習の内容に重複	・独身家庭へのホームステイはさけて ・テーマのあるホームステイを (ex日本料理の実践etc)	・交流青年とのより長期な交流を ・スポーツ、レクリエーションによる交流を	・産業関係の視察以外に社会施設関係の見学を ・視察に費す時間を交流に ・移動に時間を浪費しすぎ	
7/ 1- 7/31 インドネシア学生 (23)	・セミナーでのテーマ、使用テキストは事前に入手したい		・一般の人との出会いの機会が欲しい ・スポーツ、伝統芸能鑑賞のプログラムを		・日々のスケジュールの均等化 ・金曜に礼拝の時間を
7/ 1- 7/31 インドネシア教員 (22)	・討論の際にはテーマを決めて	・ホームステイ中のグループ行動はさけて		・寺院訪問を少なくし、討論の時間に	・プログラム進行中でもエバリュエーションを設けて
9/16-10/16 インドネシア農村 (26)	・合宿では農業全般についての討論を		・日本青年には英語のできる人を多く		・日本語学習をもっと
9/16-10/16 インドネシア勤労 (27)		・受入家庭は独身者をさけて	・日本青年には英語のできる人を多く	・総理又は代理者への表敬希望	
国名	研修的事項(講義・セミナーetc)	体験的事項(ホームステイetc)	交流的事項	文化的事項(見学・視察旅行etc)	その他
5/ 6- 6/ 5 マレーシア勤労 (18)	・講義が多く内容にダブリ ・十分な質問時間がない ・単に見るだけの視察が多い	・ホームステイは実施されず失望感が大きい	・交流自体少なく、交流したくても英語ができない	・神社、仏閣は1、2で充分	・移動が多く too tight ・食事のバラエティーを考えて
5/ 6- 6/ 5 マレーシア学生 (20)	・十分な質問時間がない ・単に見るだけの視察が多い ・現プロと共プロにダブリ	・ホームステイ中プログラムが入っており、十分に家庭で過ごす時間がない	・日本人青年は英語ができない ・問題意識を持っていない ・知的レベルが低い	・神社、仏閣は1、2で充分	・移動が多く too tight ・イスラミックセンターで食物を調達し料理して欲しい
5/ 6- 6/ 5 マレーシア公務員 (17)	・一般的なものが多く内容にダブリ ・セミナーは共通課題が見つからず進行が難しい ・単に見るだけの視察が多い	・ホームステイは実施されず失望感が大きい	・日本人青年は英語ができない ・マレーシア側からアプローチしないと交流できない ・大学を出ていない人が多かった ・同職種の青年が少ない	・神社、仏閣は1、2で充分	・資料の中に日本語のものがあった ・移動が多く too tight ・食事のバラエティーを
9/16-10/16 マレーシア教員 (30)	・ローカルな学校の視察を ・講義のイントロに重複 ・中小企業の視察を	・ホームステイをもっと長く		・民族学博物館の標示がわかりにくい	・小中高別のグループ行動を ・現プロと共プロで日本語学習に重複
9/16-10/16 マレーシア農村 (27)	・専門通訳をもっと多く	・農家以外でのホームステイも	・ことば、時間を含めて不十分		・モスクでの礼拝を配慮 ・日本語の資料は不要 ・日本語学習をもっと
9/16-10/16 マレーシア青指 (30)	・実際の活動現場の視察を ・講師に現場の人を	・ホストと直接英語で会話できた	・実際活動している人との交流を ・日本人イスラム教徒との交流を		・日本語テキストは早めに手もとに届くように

国名	研修的事項(講義・セミナーetc)	体験的事項(ホームステイetc)	交流的事項	文化的事項(見学・視察旅行etc)	その他
5/27- 6/26 シンガポール教員 (30)	・教育制度以外に政治、経済に関する講義をもっと		・交流の機会を増大 ・日本青年のレベルに問題		
5/27- 6/26 シンガポール学生 (12)	・共プロ中の講義がやや多くその分を青年との交流、日本語学習に	・1人1家庭のホームステイを	・合宿での交流以外は時間不足 ・英語の多少できるカウンターパート		
8/ 5- 9/ 4 シンガポール勲労 (25)	・講義通訳が不十分	・宮崎からあまりにも遠い所でホームステイが	・都内、宮崎2回の交流は量的不十分	・宮崎-大阪-広島という旅程は時間のロスが大	・地方での宿泊場所はできる限り同じ所に
8/ 5- 9/ 4 シンガポール公務 (29)	・共プロ中、午前講義、午後視察というスケジュールを	・伝統的な家屋をもった家庭でのホームステイを	・自己紹介に費す時間は最少限に ・もう少し地位の高い(仕事に精通した)公務員との交流の機会を	・京都に比しても長崎の伝統美は印象的	・日本語独習のためテキストを事前に ・日本映画を見る機会を
9/16-10/16 シンガポール青指 (22)	・講義のイントロに重複 ・講義と見学のバランスを考えて ・討論テーマはより具体的に	・ホームステイでは特別なもてなしはしないように ・複数家庭でのホームステイを			・詳細なプログラム内容を現プロ中に ・現プロで日本語学習をもっと
9/16-10/16 シンガポール公務 (27)	・講義と見学を組み合わせて	・ホームステイはプログラムの最後でよかった	・日本旅館での日本人との交流を	・視察旅行をもっと長く	・日本語学習の充実を (現プロ、小グループ、カセット) ・見学の移動に時間がかかりすぎ

1. 計画概要の目的

本件計画は21世紀に向けてアセアン諸国との人的交流を拡大し友好と協力の関係をより強固にする為、アセアン青年を各国から毎年150名、5ヶ年間に3750名を日本に1ヶ月間招へいし、日本の同世代の青年との交流を通じ相互理解を深め友情と信頼を培うことを主要な目的とするものである。

2. 59年度年間受入実績

昭和59年度は8グループに分けて、5月から10月にかけて総数748名を招へいした。

なお1月にブルネイがアセアンに加盟し本件計画への参加を強く希望したので運用で5名を第1陣に参加させた。

3. 実施状況

第1陣については、総理官邸に招かれ直接総理より励ましの言葉を頂いた。都内で日本についてのオリエンテーションを受けた後、青年達はそれぞれ沖縄から北海道まで約30の府県を訪問し分野別の研修を受けるとともに日本の青年との合宿セミナー、ホーム・ステイ等に参加し交流の輪を広げた。交流に参加した日本青年からは「アセアン青年の国造りに対する熱意に感動した」とか、「自分達ももっと国際感覚を身に付けなければ」等の感想が寄せられている。

4. 評価

アセアン青年に来日時と帰国時に2回アンケート調査を実施しているがプログラムの全般に関し極めて有意義と評価されている。日本人については来日前思っていたより、正直で温かく親切で友好的かつ頼りになるとの回答が寄せられているが日本社会が女性に対し不平等であるとの指摘もある。

5. 今後の課題

- (1) 予想以上に参加アセアン青年が優秀かつ意欲的であるので本件計画をマスコミ等を通じ広く知らせめ同等意欲のある日本青年を動員する必要がある。
- (2) ブルネイのアセアン加盟に伴い、60年度にはブルネイ青年50名を加えて800名の予算を要求している。

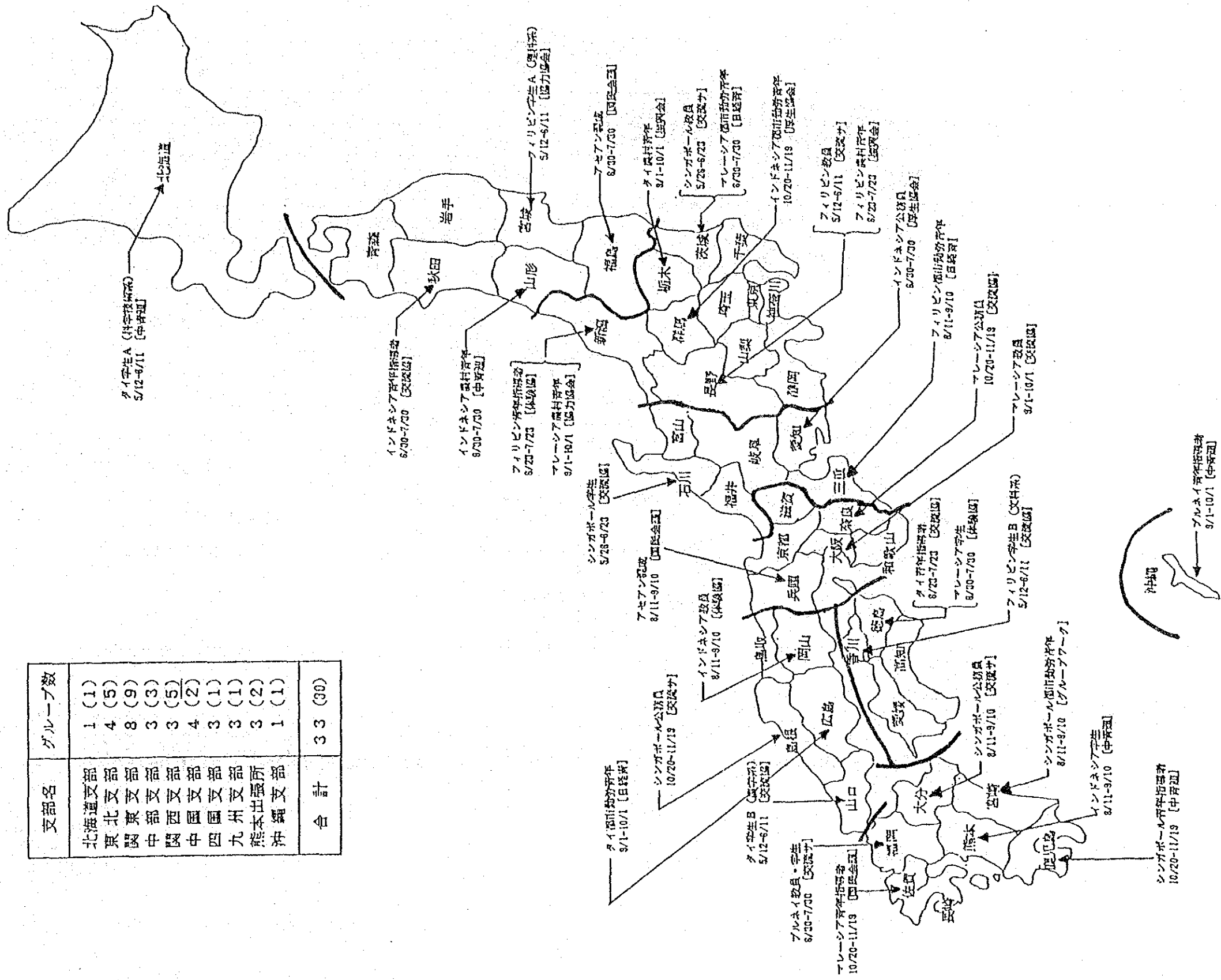
6. その他

昭和60年は国際青年年(IYY)でもあり、一層活発な交流が期待される。

Ⅲ 昭和60年度A S E A N青年招へい事業

地方実施県(地図)

支部名	グループ数
北海道支部	1 (1)
東北支部	4 (5)
関東支部	8 (9)
中部支部	3 (3)
関西支部	3 (5)
中国支部	4 (2)
四国支部	3 (1)
九州支部	3 (1)
熊本出張所	3 (2)
沖縄支部	1 (1)
合計	33 (30)



各国との協議結果

事 項	ブルネイ	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ
協議相手方	文化青年スポーツ省 (シディック次官)	アセアン国内事務局社会文化局 (ラトパプア局長) 青年スポーツ省 (オヨン補佐官)	人事院(PSD) (アジザン訓練局長)	外務省アジア太平洋局 (バシリオ次官補代理)	外務省アセアン局 (タン事務局長)	総理府青年局(NYB) (サイスリー局長)
招へい青年 について	・農村青年と学生を十分な数選 出することは困難との懸念	・各グループにリーダー(35 才程度)を同行 (扱いは一般参加者と同様)	・農業従事者の参加は難しい	・学生、教員は夏休み(5~6 月)時期の派遣を希望 ・学生は文化系と理科系の2 グループ ・大使館推薦者について柔軟な 対応 (ネームリストの提出を「フィ 側」が要望)	・「シ側」の大学の夏休み(5/ 24-6/20)に学生、教員の派遣を 希望 ・各グループにリーダー(35 才程度)を同行 (扱いは一般参加者と同様)	・学生は科学技術関係30名、農 業関係20名の2グループ ・青年指導者は青年組織の指導 者を15名、文化関係を15名とし たい
プログラム について	・現地プログラム支援のための 監理員の派遣は歓迎	・講義後の討論時間の増大 ・優秀な通訳者の用意 ・レクリエーション(スポーツ、 ゲーム等)の強化 ・神社、仏閣の見学を減らす ・交流の時間を多くする ・日本語学習の増加 ・首相表敬を入れること	・日本語学習に重複があり、一 貫性のあるものにして欲しい ・プログラムを詳しく、また討 論テーマを事前に知らせて ・視察、訪問を1日に数多くせ ず、ゆとりのあるプログラムに ・東京滞在中に金曜1回だけで もモスクに行く時間を ・各省庁訪問時間が短く施設見 学に限られ、公務員との意見交 換が不十分であった	・週に半日(土曜が望ましい) 程度の自由を ・講義を減らしその分視察に ・共通プログラム中アセアン間 の交流に配慮 ・地方プログラム中あまり宿舎 を移動させないで欲しい	・共プロにゆとりを ・講義は可能な限り英語で実施 ・大使館表敬をプログラムに ・カウンターパート青年との交 流の期間の延長 ・講義を減らしその分視察に	・日本語学習時間の増加 ・準備の都合上プログラム(特 にディスカッションのテーマ) を事前に
そ の 他		・アプリケーションにインドネ シア語を併記				
当方要望事項	・アプリケーションフォームを 2ヶ月前に提出	・アプリケーションフォームを 2ヶ月前に提出 ・グループ構成員の職種をでき るだけ統一	・アプリケーションフォームを 2ヶ月前に提出 ・グループ構成員の職種をでき るだけ統一	・アプリケーションフォームを 2ヶ月前に提出 ・グループ構成員の職種をでき るだけ統一	・アプリケーションフォームを 2ヶ月前に提出 ・グループ構成員の職種をでき るだけ統一	・アプリケーションフォームを 2ヶ月前に提出 ・グループ構成員の職種をでき るだけ統一 ・参加青年の選出委員会にオブ ザーバーとして大使館員及びJI CA職員を参加させて欲しい

各国要望事項への対応

要望事項	実施協力団体への要望	J I C A の 対 応
1 総理表敬の完全実施		総理が無理な場合でも官房長官等への表敬を実施すべく、外務省を通じて官邸へ申し入れたい。
2 各省庁表敬	関係省庁訪問は必ず実施するとともに単なる表敬に終わることのないよう、分野別全体プリアフイングを受け、可能ならば若手公務員との意見交換等の場を設ける。	J I C A から各省庁へ依頼文を出すことに対してはやぶさかではなく、積極的に協力して行く。
3 大使館表敬		共通プログラム中の金曜日の午後を表敬及び都内視察としており、その中で対応可能である。
4 アセアン間の交流の強化		共通プログラム中の交流は食事の時間等において可能である。バスでの移動においても各国混成にする等配慮して行く。
5 日本語学習		共通プログラムにおいて2回(3時間)の学習時間の設定をしているが、もちろん不十分であり現地の学習に対する側面的援助を強化したい。
6 プログラムの事前通知	参加アセアン青年は討論テーマを前もって知り勉強したいという希望がある。又、交流会などでの伝統芸能紹介のための準備など、前もってどういふことを学び準備すべきかについて十分な情報の早期入手のため、現地派遣コーディネーターとの打合わせの時点には、これらの点を含めた日程表を現地派遣コーディネーターが持参できるようにして欲しい。	又、現地で学習と内容に重複がないよう現地派遣コーディネーターと十分打合わせを行なう。
7 日本青年との交流の充実	参加日本青年の選定に配慮し、事前のオリエンテーションを充実する。	事業のPRに一層の努力をし、日本人カウンターパートの動員が容易になるように努める。
8 イスラム寺院参拝	地方視察旅行からの帰京当日モスク礼拝が可能になるようスケジュールを調整する。 (回教徒のみ)	
9 宿舎の移動回数削減	宿舎の移動は合理的判断のもとに行ない、連日移動が続くようなことや、訪問先まで時間がかなり過ぎるような宿舎の選定は避ける。	
10 神社仏閣の見学	日本の歴史や文化を知る上で不可欠であり、宗教的に仏教という立場からの見学ではない点を明確にし、日本理解の一助となるようにする。	
11 ゆとりのあるプログラム	視察、訪問については午前、午後1ヶ所程度とし、各視察訪問先での討論を充実するようプログラムを作成する。	
12 通訳	専門的な講義、見学の際の通訳については、事前に通訳内容の資料を準備し、講師と十分な打合わせを行わせる。	
13 適宜な休日	週に半日～1日程度の自由時間をプログラムに盛り込む。	

受 入 実 績

国名	分野名	年 冊 数	受 入 実 績 数							合 計	受 入 率 (%)
			1 冊 5/12~6/11	2 冊 5/28~6/23	3 冊 6/23~7/23	4 冊 6/30~7/30	5 冊 8/11~9/10	6 冊 9/1~10/1	7 冊 10/20~11/19		
ブルネイ	ア・教員 ア・七 ア・年 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指	1 1				10	5	10		30	100
	ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指	1 1				5				30	100
	小 計	30				15	5	10		30	100
インドネシア	ア・教員 ア・七 ア・年 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指	2 2 2				47				29	
	ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指	2 2 2				47				29	
	小 計	150				70	51		29	150	100
マレーシア	ア・教員 ア・七 ア・年 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指	1 1				80					
	ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指	2 2				0	5				
	小 計	150				44	10	50	44	148	98.7
フィリピン	ア・教員 ア・七 ア・年 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指	2 2 2	20 28								
	ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指	2 2		25	5						
	小 計	150	67		46	5	32			150	100
シンガポール	ア・教員 ア・七 ア・年 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指	2 2				5					
	ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指	2 2		6			43				
	小 計	150		46		5	52		47	150	100
タイ	ア・教員 ア・七 ア・年 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指	3 3	30								
	ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指 ア・指	3 3			30	5		5			
	小 計	150	50		30	5	5	60		150	100
合 計		780	117	46	76	144	155	120	120	778	99.7

コーディネーター配置

受入期間	国名	分野名	人数	中央実施協力団体	地方関係団体	実施県	JICA配置コーディネーター氏名	プログラムコーディネーター氏名
5/12- 6/11 [I] 117	フィリピン " " タイ "	教員 学生A(理系) 学生B(文系) 学生A(科系) 学生B(農系)	20 19 28 30 20	(社) 国際交流サービス協会 (社) 青年海外協力協会 (財) 世界青少年交流協会 (任) 中央青少年団体連絡協議会 (財) 世界青少年交流協会	信濃教育会 宮城県OB会 香川県青少年対策室 北海道青少年団体連絡協議会 山口県青友会	長野 宮城 香川 北海道 山口	青島多津子 額 美恵 岡部 昭子 高橋 清貴 葉山アツコ 井上 滋郎 福山 敦夫 井上 恭子 荻司 和子 藤原 薫	飯田 典正 梅津 千恵子 牧尾 春奈 岩崎 康男 佐藤 忠良 臼井 千里
5/26- 6/23 [II] 46	シンガポール "	学生 教員	20 26	(財) 世界青少年交流協会 (社) 国際交流サービス協会	金沢市教育委員会社会教育課 茨城県総合県民室	金沢市 茨城	久澄 明美 大迫 正弘 行徳 恭子 新井 はるひ	堤 博司 田村 正明
6/23- 7/23 [III] 76	フィリピン " タイ "	農村青年 青年指導者 "	21 25 30	(社) 全国農村青少年教育振興会 (社) 日本国際生活体験協会 (財) 世界青少年交流協会	長野県農業技術課 体験協会新潟地区委員会 徳島県青少年婦人室	長野 新潟 徳島	葉山アツコ 北島 多紀 岡部 昭子 井上 滋郎 福山 敦夫 荻司 和子	藤田 康樹 藤田 忠男 加藤 淑子 臼井 千里
6/30- 7/30 [IV] 144	アセアン混成 ブルネイ インドネシア " " マレーシア "	公務員(I) 教員・学生 青年指導者 農村青年 公務員 都市勤労青年 学生	30 10 24 24 17 19 20	(社) 青少年育成国民会議 (社) 国際交流サービス協会 (財) 世界青少年交流協会 (任) 中央青少年団体連絡協議会 (社) 勤労厚生協会 (社) 日本経済青年協議会 (社) 日本国際生活体験協会	福島県民会議 福岡県海外協会 秋田市教育委員会 山形県青年団協議会 ジャパンヤングサークル東海支部 茨城県経営者協会 体験協会徳島地区委員会	福島 福岡 秋田 山形 愛知 茨城 徳島	行徳 恭子 額 美恵 青島多津子 原田 紀子 芹沢 薫 石橋八千代 三代川由美 西広 咲子 三宅 正風 岡田美智子 佐藤 宏文 文屋 厚子 牧野 千秋	木曾 俊介 吉見 裕子 牧尾 春奈 岩崎 康男 小林 月見 鹿沼 安弘 畔津 雄一郎 松丸 信男
8/11- 9/10 [V] 155	アセアン混成 マレーシア インドネシア " フィリピン シンガポール "	公務員(II) スポーツ選手 学生 教員 都市勤労青年 公務員(I) 都市勤労青年	30 5 25 21 27 24 23	(社) 青少年育成国民会議 (任) 中央青少年団体連絡協議会 (社) 日本国際生活体験協会 (社) 日本経済青年協議会 (社) 国際交流サービス協会 (財) 勤労青少年グループワーク協会	兵庫県民会議 熊本県青年団体連絡協議会 体験協会岡山地区委員会 東海ILO協会三重県支部 大分県海外協会 グループワーク協会宮崎県支部	兵庫 熊本 岡山 三重 大分 宮崎	加藤 孝子 古賀 達朗 西広 咲子 三宅 正風 原田 紀子 石橋八千代 高橋 清貴 比嘉世津子 行徳 恭子 栗原 博美 葉山アツコ 下山田昌子	木曾 俊介 佐藤 忠良 松丸 信男 畔津 雄一郎 飯田 典正 後藤 昭一
9/ 1-10/ 1 [VI] 120	ブルネイ マレーシア " タイ "	青年指導者 農村青年 教員 農村青年 都市勤労青年	10 25 25 30 30	(任) 中央青少年団体連絡協議会 (社) 青年海外協力協会 (財) 世界青少年交流協会 (社) 全国農村青少年教育振興会 (社) 日本経済青年協議会	沖縄県青年団協議会 新潟県OB会 世界青年友の会 栃木県普及教育課 広島県経営者協会	沖縄 新潟 大阪 栃木 広島	青島多津子 文屋 厚子 牧野 千秋 岡田美智子 佐藤 宏文 荻司 和子 藤原 薫 福山 敦夫 井上 恭子	佐藤 忠良 白倉 登貴雄 山沢 尚子 牧尾 春奈 藤田 康樹 畔津 雄一郎
10/20-11/19 [VII] 120	インドネシア マレーシア " シンガポール "	都市勤労青年 青年指導者 公務員 青年指導者 公務員(II)	29 25 19 23 24	(社) 勤労厚生協会 (社) 青少年育成国民会議 (財) 世界青少年交流協会 (任) 中央青少年団体連絡協議会 (社) 国際交流サービス協会	群馬県実行委員会 佐賀県民会議 世界青年友の会 鹿児島県青少年団体連絡協議会 国際交流青友会	群馬 佐賀 奈良 鹿児島 島根	西広 咲子 三宅 正風 岡田美智子 文屋 厚子 牧野 千秋 西野 政代 葉山アツコ 行徳 恭子 青島多津子 加藤 孝子	鹿沼 安弘 木曾 俊介 臼井 千里 佐藤 忠良 飯田 典正

* _____ は現地派遣コーディネーター